

青森・岩手県版

2011 » 2021

パンフレット

復興道路・復興支援道路の10年

復興・復興支援道路  
全長約570kmの道路網

全線開通

震災・復興10年

進もう！  
次の東北へ

三陸エリアと  
復興道路  
復興支援道路



# 三陸エリアと 復興道路 復興支援道路

## 2011年3月11日。

突如として襲った大地震・大津波が、三陸沿岸エリアから、生活や産業の基盤、そして、多くの尊い命を奪い去りました。千年に一度と言われる「東日本大震災」でした。

## 震災からわずか8か月。

国土交通省では、復興のリーディングプロジェクトとして、八戸から仙台までの沿岸軸を結ぶ三陸沿岸道路「復興道路」と4本の東西横断軸「復興支援道路」の整備を決定し、約570km(震災時の開通済みを除くと残り約410km)の高速道路を10年で全線開通させることを目標に掲げました。

## それからの10年。

各現場では急ピッチで工事が進められる一方、想定外の現場条件や自然災害など幾多の困難にもみまわれました。

## そして、2021年12月18日。

三陸沿岸道路(普代～久慈)が開通し、全ての復興道路・復興支援道路が全線開通を迎えました。

本パンフレットは、全線開通を節目に、これまでの復興道路・復興支援道路と三陸沿岸エリアの歩みをまとめたものです。これから先、復興道路・復興支援道路が、東北のさらなる復興に向けて、たくさんの方々に活用されることを願っています。

## 目次

1	三陸という地域	1
2	東日本大震災	3
3	くしの歯作戦	5
4	復興道路・復興支援道路、始動	7
5	復興道路・復興支援道路と東北の主なできごと	9
6	三陸沿岸エリアの移動時間が短縮	11
7	データで見る三陸沿岸エリア	13
8	復興道路・復興支援道路がもたらす整備効果	15
	・水産業を応援する復興道路・復興支援道路	
	・農畜産業を応援する復興道路・復興支援道路	
	・観光を応援する復興道路・復興支援道路	
	・企業活動を応援する復興道路・復興支援道路	
	・復興まちづくりを応援する復興道路・復興支援道路	
	・災害時でも強靱な復興道路・復興支援道路	
	・救急医療を応援する復興道路・復興支援道路	
	・高速バスや新幹線、道の駅と連携する復興道路・復興支援道路	
9	沿線のリーダーたちの声	41
10	沿線地域のみなさまの声	43



※津波浸水区域はH23.3.11  
 ※人口は、令和3年11月30日公表  
 「令和2年国勢調査人口等基本集計結果」  
 ※交通量はH27道路交通センサス(台/日)  
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得、同院発行の20万1:1地形図及び数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平29情使、第1380号)」

事業計画概要<岩手県>

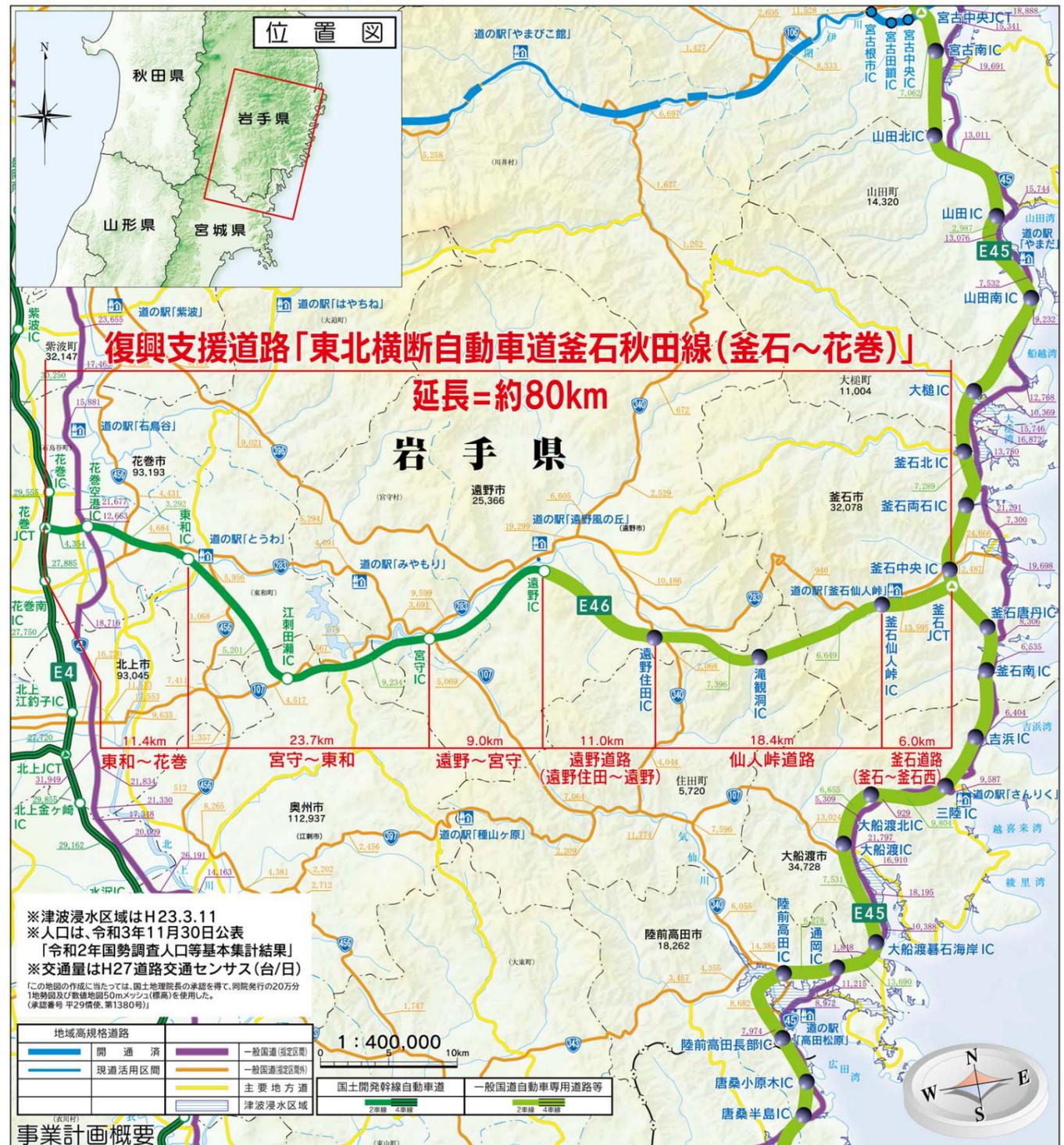
道路網	三 陸 縦 貫 自 動 車 道														三 陸 北 縦 貫 道 路						八 戸 ・ 久 慈 自 動 車 道												
	唐桑高田道路 (唐桑北～陸前高田) 10.0km	高田道路7.5km	大船渡三陸道路17.6km	吉浜道路3.6km	吉浜釜石道路(吉浜～釜石) 14.0km	釜石山田道路23.0km	山田道路7.8km	山田宮古道路 (山田～宮古南) 14.0km	宮古道路4.8km	宮古老道路(宮古中央～田老) 21.0km	田老岩泉道路(田老～岩泉) 6.0km	岩泉道路(中野バイパス) 6.2km	田野煙草道路(田野煙草～尾肝要) 6.0km	尾肝要道路(尾肝要～菅代) 8.0km	菅代道路(菅代バイパス) 4.2km	野田久慈道路(菅代～久慈) 25.0km	久慈道路3.2km	久慈北道路7.4km	洋野階上道路(待浜～階上) 23.0km	八戸南道路8.7km	八戸南環状道路8.6km												
事業主体	国土交通省																																
IC名	陸前高田IC	陸前高田IC	大船渡IC	大船渡IC	大船渡IC	大船渡IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC	山田IC											
アクセス道路	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号	一般国道45号											
都市計画決定	---	H10.6.30	---	---	---	H8.5.24	---	---	H15.3.24	---	---	---	---	---	---	---	S53.6.23	---	---	---	H11.5.26	H3.10.9											
環境アセスメント	---	H10.6.30	H2.11.16	---	---	H8.5.24	---	---	H15.3.24	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	H11.3.10	H2.12.21											
整備計画決定(整備区域指定)	H24.4.17	H12.4.3	H1.8.8	H24.4.17	H24.4.17	H9.2.5	H1.8.8	H24.4.17	H24.4.17	H23.11.21	H7.8.23	H23.11.21	H18.3.31	H23.11.21	H7.4.28	H23.11.21	H1.8.8	H21.3.13	H24.4.17	H12.4.3	H3.12.3												
事業化	H23	H6	S63	H1	S58	H19	H23	H5	S62	H23	H15	H23	H23	H18	H23	S63	H23	H20	H23	H7	H3												
開 通	H31.3.21	H30.7.28	H26.3.23	H21.3.15	H17.3.19	L=59mH11.3.24開通	H27.11.29	H30.8.11	H31.3.9	H31.3.9	H23.3.5	R1.6.22	H31.1.12	H14.8.2	H29.11.19	H22.3.21	R2.7.12	H30.3.21	H22.11.28	H18.2.11	R3.7.10	H26.3.2	R2.12.19	H25.10.13	R3.12.18	H5.12.16	R2.3.1	R3.3.20	R2.12.12	H25.3.9	H19.6.16	H17.3.5	H26.3.29

新三陸トンネル=3.1kmH5.3.16開通



**事業計画概要**

宮古盛岡横断道路						
道路網	都南川目道路 6.0km	築川道路 6.7km	区界道路(区界~築川) 8.0km	平津戸松草道路 (平津戸~岩井~松草) 7.0km	連管部道路 1.4km	宮古箱石道路(宮古~箱石) ※田鎖臺目道路除く 33.0km
事業主体	国土交通省	岩手県	国土交通省	国土交通省	岩手県	国土交通省
IC名	手代森IC 3.4km	盛岡市 市道川目38号線 2.6km	川目IC 6.7km	8.0km	7.0km	宮古市 宮古南IC 1.4km 宮古田鎖IC 1.9km 宮古中央IC 4.0km 宮古港IC
アクセス道路	一般国道396号	市道川目38号線	一般国道106号	一般国道106号	一般国道106号	一般国道106号 一般国道106号 一般国道106号 一般国道45号
都市計画決定	H13.12.21	---	---	---	---	H15.3.24
環境アセスメント	H13.12.21(案)	---	---	---	---	H15.3.24(案)
整備計画決定(整備区間指定)	H8.8.30	H7.8.23	H23.11.21	H23.11.21	H7.4.28	H23.11.21 H11.12.17 H23.11.21
事業化	H9	H8	H23	H23	H6	H23 H15 H23
開通	R1.12.8	H28.3.12	H25.3.10	R2.12.5	R3.3.28	H11.12.16 R3.3.28 H31.3.30 R2.7.12



**事業計画概要**

東北横断自動車道釜石秋田線(釜石~花巻)										
道路網	東和IC~花巻JCT 11.4km	宮守~東和 23.7km	遠野~宮守 9.0km	遠野道路(遠野住田~遠野) 11.0km	仙人峠道路 18.4km	釜石道路(釜石~釜石西) 6.0km				
事業主体	東日本高速道路(株)	国土交通省	国土交通省	国土交通省	岩手県	国土交通省				
IC名	花巻JCT 3.7km	花巻市 花巻空港IC 7.7km	東和IC 11.6km	奥州市 江刺田鎖IC 12.1km	花巻市 宮守IC 9.0km	遠野市 遠野IC 11.0km	遠野住田IC 9.5km	住田町 滝観洞IC 8.9km	釜石仙人峠IC 8.9km	釜石市 釜石JCT 6.0km
アクセス道路	東北自動車道	一般国道4号	北-東和線	一般国道107号	一般国道107号	(二)遠野住田線	一般国道340号	(二)釜石住田線	一般国道283号	三陸沿岸道路
都市計画決定	---	H8.12.3	---	---	---	---	---	---	---	---
環境アセスメント	---	H3.6.18	H8.12.3	---	---	---	---	---	---	---
整備計画決定(整備区間指定)	---	H3.12.3	H8.12.27	H10.12.25	---	---	---	---	---	---
事業化	---	H5	H10	H15	H23	H4	---	---	---	H23
開通	---	H14.11.7	H24.11.25	H27.12.5	H31.3.3	H19.3.18	---	---	---	H31.3.9

# 1 三陸という地域



## 自然の恩恵豊かな 3つの“陸”からなる「三陸」

「三陸」は、明治時代の地域の名称である  
陸奥・陸中・陸前（現在の青森県・岩手県・宮城県の一部）の三国の総称です。  
親潮・黒潮・津軽暖流がぶつかる潮目であることに加え、リアス海岸や多くの島々の点在が魚の絶好の住処となり、世界三大漁場のひとつとなっています。  
また、リアス海岸特有の海岸地形は風光明媚な景観を生み出しています。



## 度重なる 大地震や津波

豊かな海の恵みがある一方で、  
三陸は何度となく、  
大地震と津波に見舞われてきました。

### 869年 貞観津波

死者:1,000人

### 1611年 慶長津波

死者・行方不明者:1,787人

### 1896年 明治三陸津波

最大津波遡上高:38.2m  
死者・行方不明者:21,959人

### 1933年 昭和三陸津波

最大津波遡上高:28.7m  
死者・行方不明者:3,064人

### 1960年 チリ地震津波

最大津波遡上高:6.3m  
死者・行方不明者:142人

うたつむら なにがし かいしろう あ  
歌津村の某、婚礼を行う時、海嘯に遭うの図(明治三陸津波)



出典:風俗画報120号(明治大学図書館所蔵)



昭和三陸津波の惨事を伝える記事  
記事提供/岩手日報社 1933年(昭和8年)3月4日号外

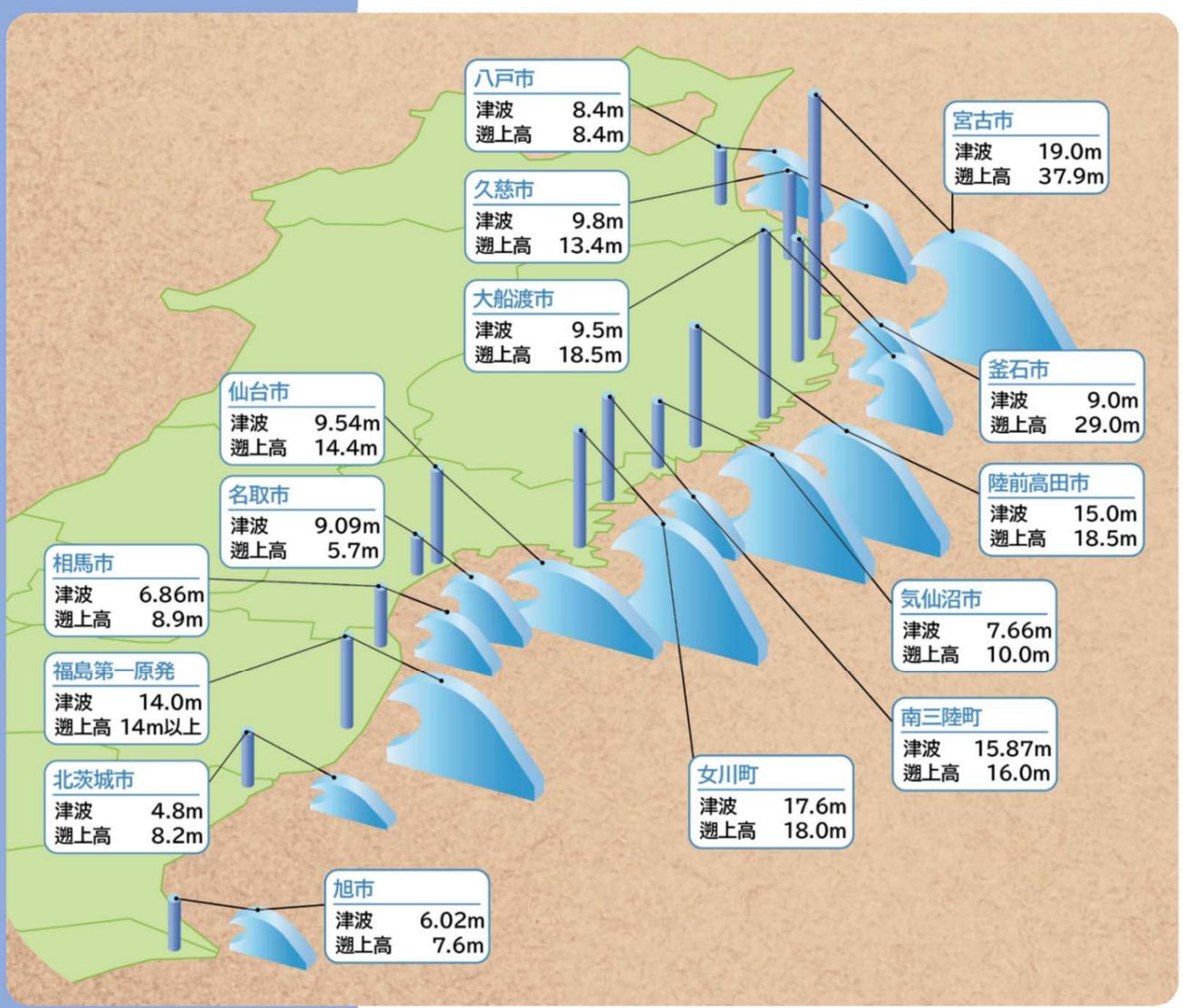


チリ地震津波の惨事を伝える記事  
記事提供/岩手日報社 1960年(昭和35年)5月24日夕刊



# 2011年3月11日 東日本大震災発生

死者・行方不明者2万人を超える国内史上最大、  
20世紀以降世界で4番目の規模となった東日本大震災。  
リアス海岸(岩手県宮古湾～宮城県牡鹿半島)では、そのV字型の湾の奥に波が  
集中することで、遡上高がさらに高くなり、岩手県宮古市で**37.9m**など各地  
で過去にない津波の遡上高が確認されました。



## 各地の被災状況(岩手県)

岩手県宮古市田老



岩手県山田町



岩手県大槌町



岩手県釜石市鶴住居町



岩手県大船渡市



岩手県陸前高田市



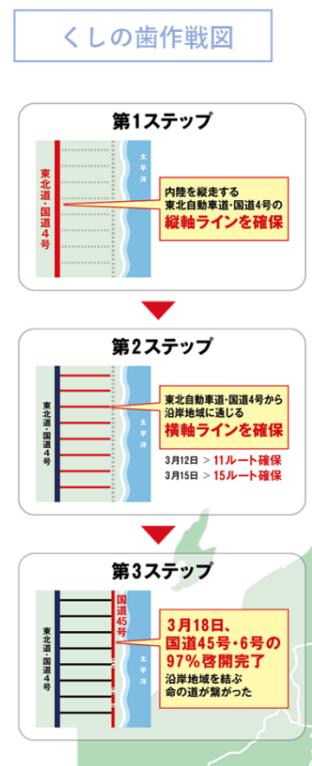
	死者	行方不明者	建築物被害 (2020年3月時点)			避難者数 2012年6月 (最大)	被害推計額 (2011年6月時点)
			全壊・半壊	一部破損	計		
岩手	5,145人	1,111人	2.6万戸	1.9万戸	4.5万戸	4.3万人	-
宮城	10,567人	1,217人	23.8万戸	22.4万戸	46.2万戸	12.8万人	-
福島	3,920人	224人	9.8万戸	14.1万戸	23.9万戸	10.1万人	-
全国	19,747人	2,556人	40.5万戸	75.0万戸	115.5万戸	34.7万人	約16兆9千億円

出典：R3年版消防白書、環境省、復興庁

# 3 くしの歯作戦

## 「命の道」を切り啓く 道路啓開「くしの歯作戦」

津波により橋の流出や流出した建物などが道路をふさぐなどにより、被災地域の孤立が発生しました。救援隊や支援物資を被災地に届けるため、内陸部を南北に貫く東北縦貫自動車道と国道4号から沿岸部に「くしの歯」のように伸びる何本もの国道のがれき撤去などが進められました。この「くしの歯作戦」は国土交通省、地域の建設業者、自衛隊、警察などが一体となって取り組み、震災発生から一週間で救援のための道が切り啓されました。




## 体を張った地元建設会社29社から52チームが集結

「やんなきゃなんねえな」と思ったんです。  
「これは、誰かがやんなきゃなんねえことなんだ」って。

「ここを通して宮古病院や田老に国道をつなげたい。道がなければ病院にも行けない」とBは言ったのだ。作業員のCは思った。これは、どうしても誰かがやらなければならないことなんだ、と。そして、バックホウのエンジンをかけて土砂で真っ黒になった国道45号に降りる・・・。

緊張で胸が押しつぶされそうだった。「生きている人がこの中にいたら・・・」



資料:東日本大震災津波伝承館

## 一面のガレキから、「道」を啓く



資料:東日本大震災津波伝承館

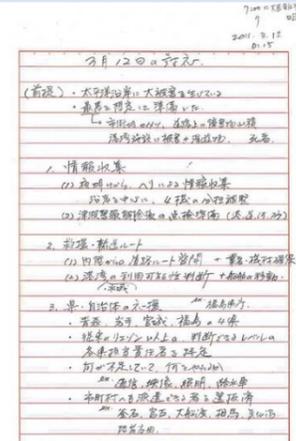
3月11日 22:00 <緊急災害対策本部会議>      23:33 整備局長からの3月12日対応指示      作戦の手書き地図

### 東北地方整備局と国土交通大臣のテレビ会議

- 整備局長からの意見具申**
- 阪神大震災とは違う津波型の大震災を想定しなければならない
  - 翌朝から人命救助で自衛隊や救援チームが入るルートを最優先に啓開する
  - 壊滅的な被害を受けた自治体の支援が必要



「内陸からの道路ルート啓開」のため、「業者・機械確保」をどれだけやれるかが死命を制すると指示



東北の横軸55本の中から16本のルートを選定



## 啓開された「道」 救援部隊が続々と

一刻も早く。  
一人でも多くの命を助けたい。

啓かれた道を通って、震災翌日から陸・海・空各自衛隊、各県の緊急消防隊、広域緊急救助隊、海上保安庁、DMAT(災害派遣医療チーム)などが被災地へ急行し、総力をあげて人命救助や行方不明者の捜索を開始しました。各国からも救助隊員や救助犬、医療チーム、物流支援要員など29の国と地域、国際機関から緊急支援の手が差し伸べられました。

宮城県石巻市では道路兼用の河川堤防が1,100mにわたって流出しました。まずは車1台が通れる幅の確保を最優先に復旧を実施し、3月14日には緊急車両の通行や緊急物資輸送が実現し、被災者支援に結びつきました。

国土交通省 東北地方整備局資料



# 4 復興道路 復興支援道路 始動

## 復興のリーディングプロジェクト 復興道路・復興支援道路、 始動

未曾有の大災害からの復興を目指し、異例のスピードで事業が進められました。これまでの三陸沿岸道路の事業化から開通までの平均年数は約18年。震災時点で開通している復興道路・復興支援道路の延長は約173kmで総延長約570kmのわずか約30%でしたが、震災後10年で全線開通させることを目標に始動しました。



### 異例のスピードで キックオフ

- 2011.6**  
太平洋沿岸軸の緊急整備(復興道路)と横断軸の強化(復興支援道路)の提言
- 2011.7~8**  
復興道路・復興支援道路の具体的なルートが決定
- 2011.9**  
道路整備のための事業評価手続き(事業内容が適正か審査)
- 2011.11**  
事業化(道路整備に向けた用地買収・調査・測量・設計がスタート)

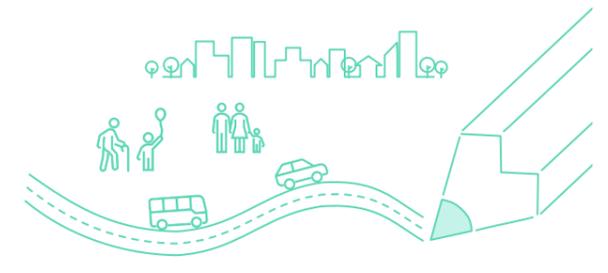
### スタートダッシュの ための工夫

**復興道路会議**  
事業の加速化を図るため関係者を一同に会し事業進捗への合意形成を図る会議を開催。  
[復興道路会議構成員]  
県知事、東日本大震災復興対策本部現地対策本部長(現 復興大臣政務官)、関係市町村長、地元経済界代表、報道関係代表、国土交通省東北地方整備局長



## 三陸地域の暮らしを支え命を守る 6つの設計コンセプト

平時には三陸地域の暮らしを支え、災害時には命を守る機能を持った復興道路を実現するため、6つの設計コンセプトを設定し、整備を進めてきました。

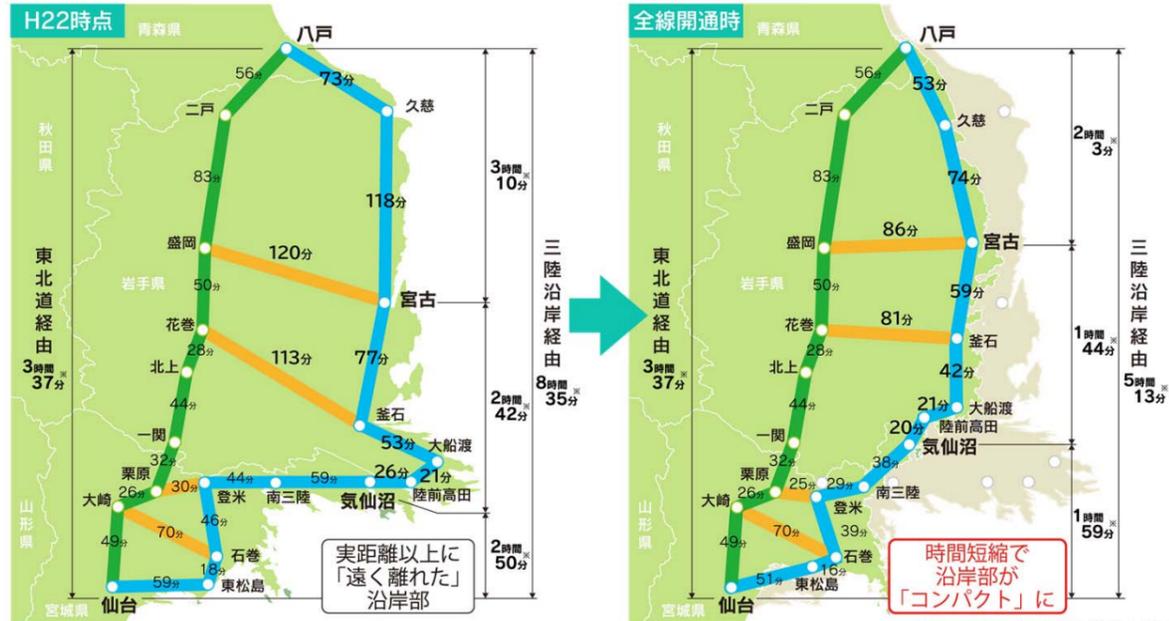


- 1 強靱性の確保**  
復興道路が通過するルートは津波で浸水した区域を回避するよう設定しました。
- 2 低コストの実現**  
必要最小限の車線数の確保とコンパクトな形状のインターチェンジ整備で、費用を縮減しました。
- 3 復興まちづくりの支援**  
新たなまちづくりと連動させ、市街地からのアクセスの良さや利便性を考慮したインターチェンジを整備しました。
- 4 IC等の弾力的配置**  
水産業・商工業施設、防災拠点施設や病院へアクセスしやすい位置にインターチェンジを整備しました。
- 5 避難機能の強化**  
災害時に復興道路が避難場所となれるよう、避難階段を設置しました。
- 6 ICTによる通行可能性把握**  
ICT(情報通信技術)によって災害時に通行可能なルート情報を把握しています。

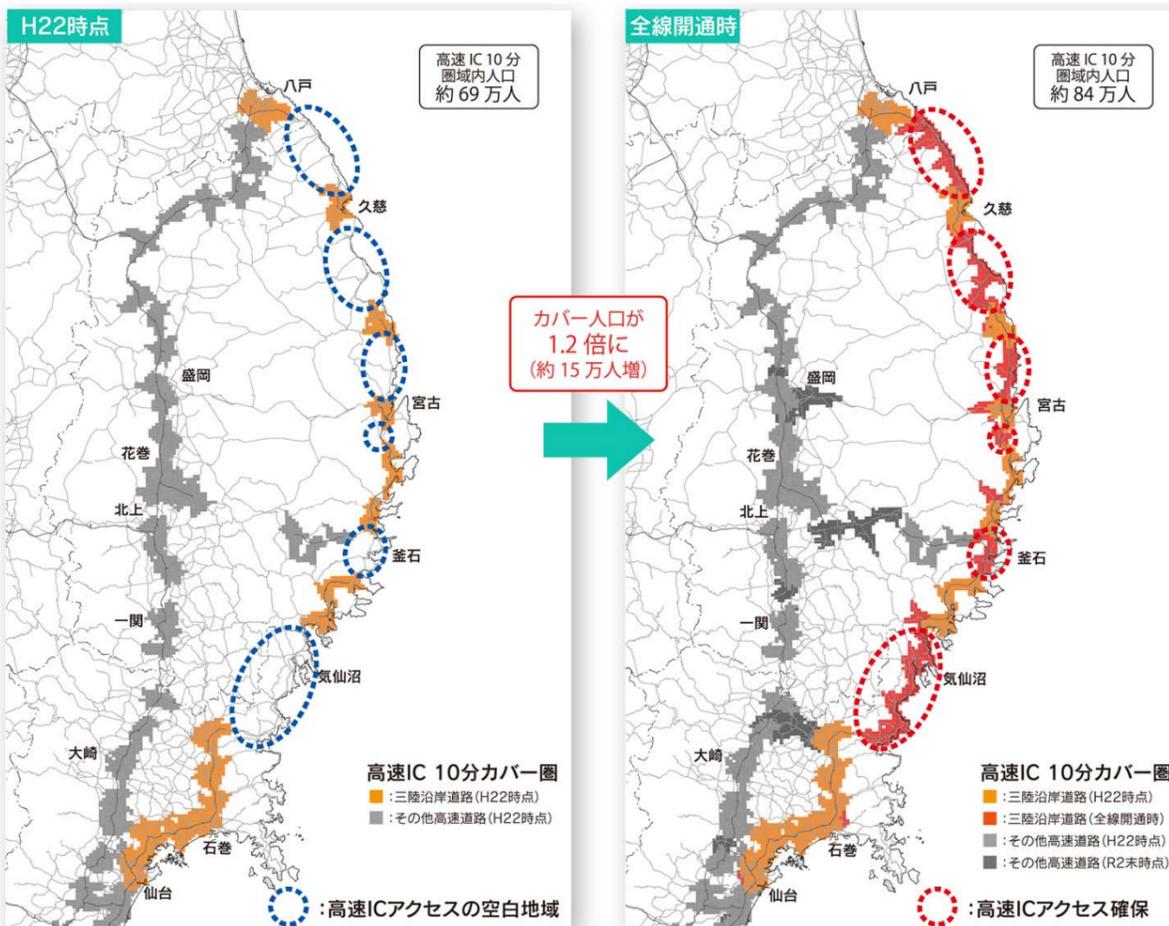


# 6 三陸沿岸エリアの移動時間が短縮

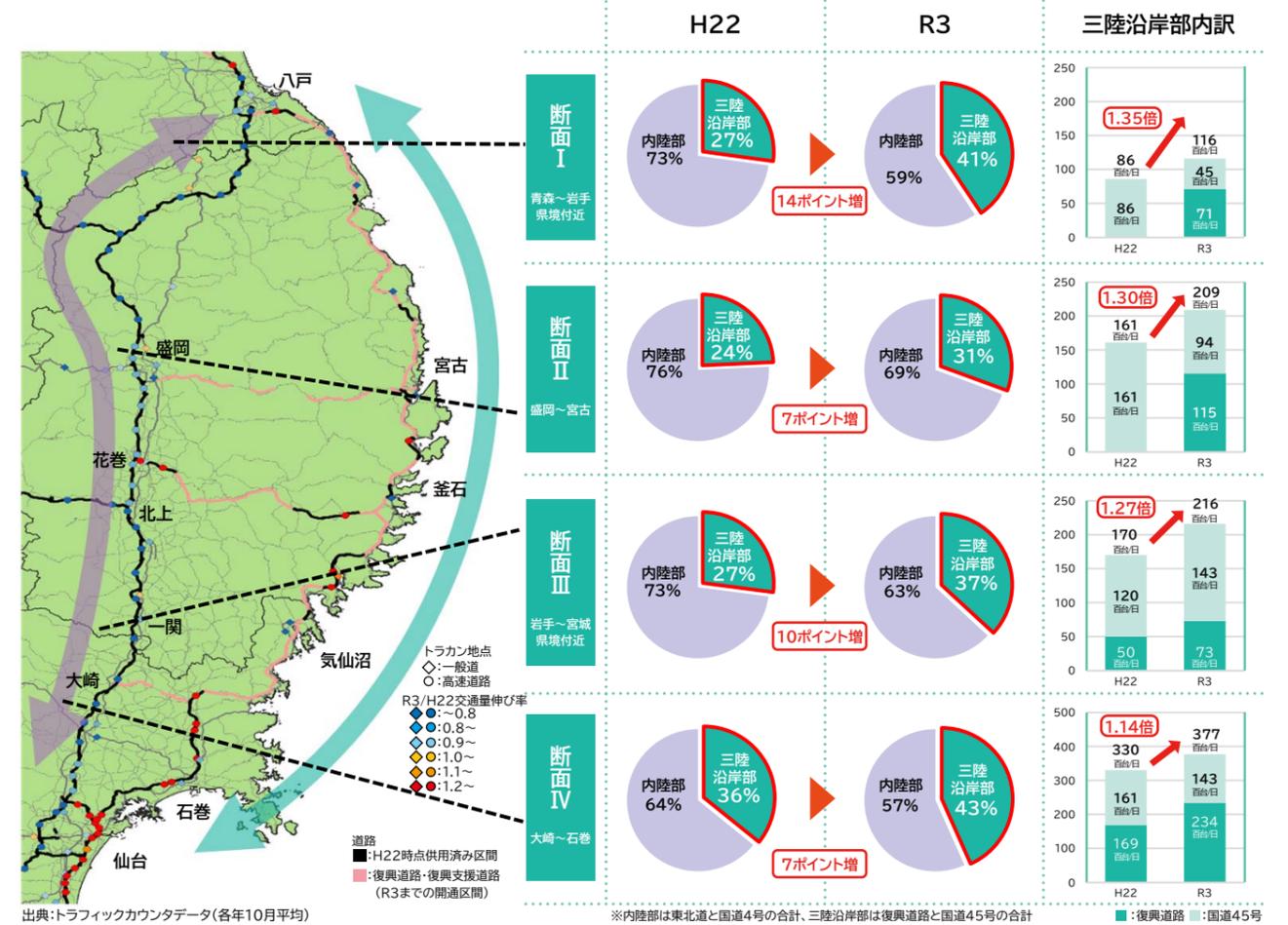
## 三陸沿岸を「時間地図※」で描く



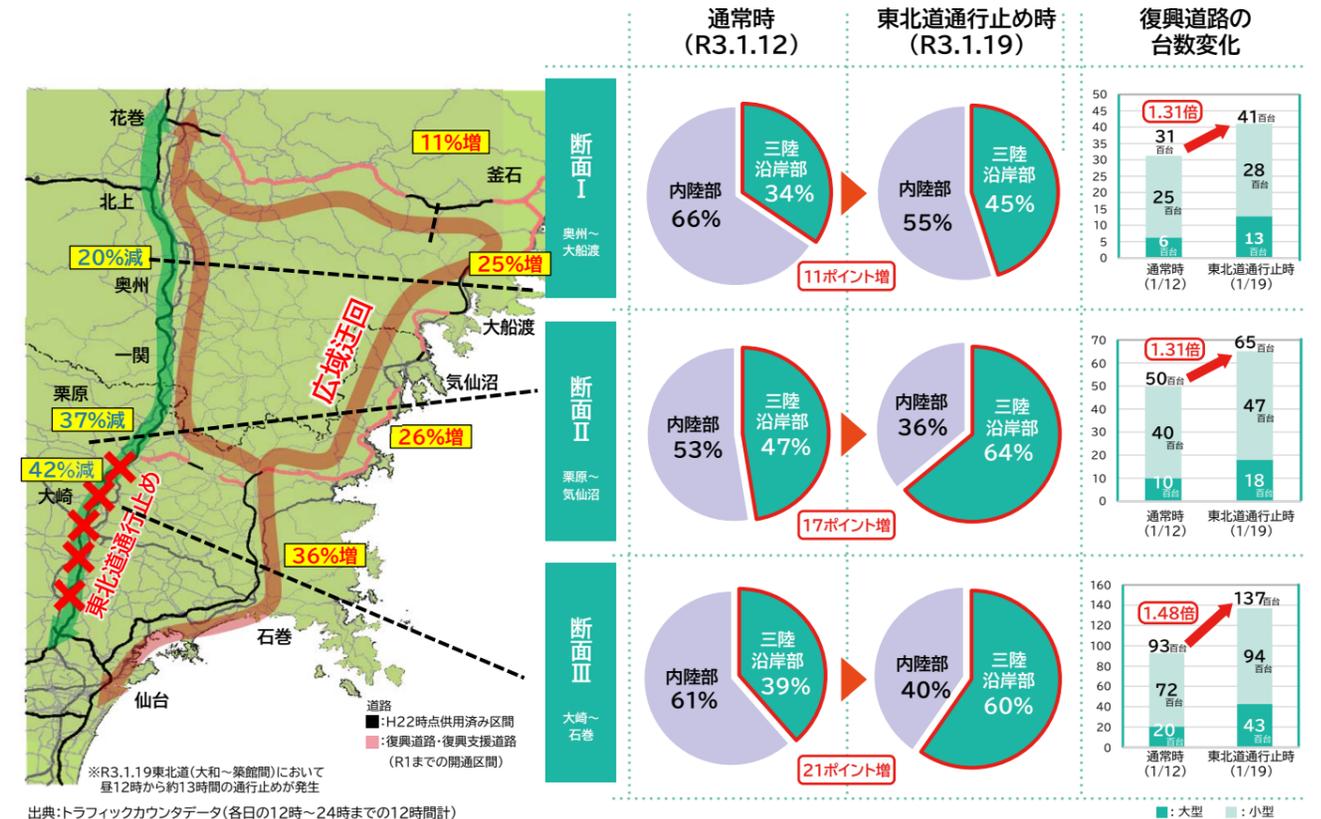
## 高速ICからの10分カバー圏が拡大



## 三陸沿岸部へ交通流動の変化が始まる



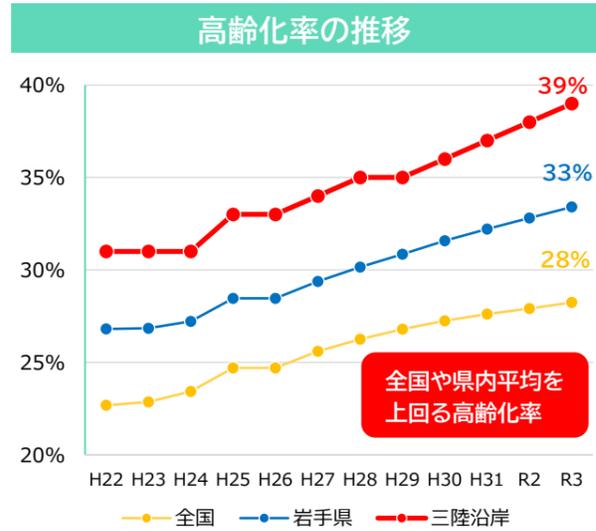
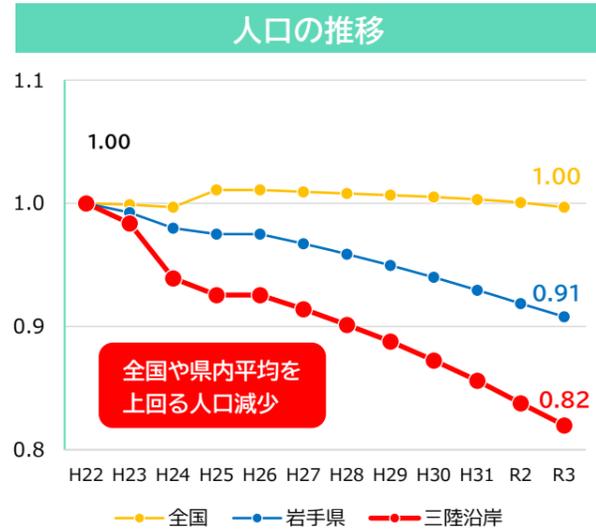
## 東北道通行止め時に代替ルートとして機能



# データで見る 三陸沿岸エリア(岩手県)

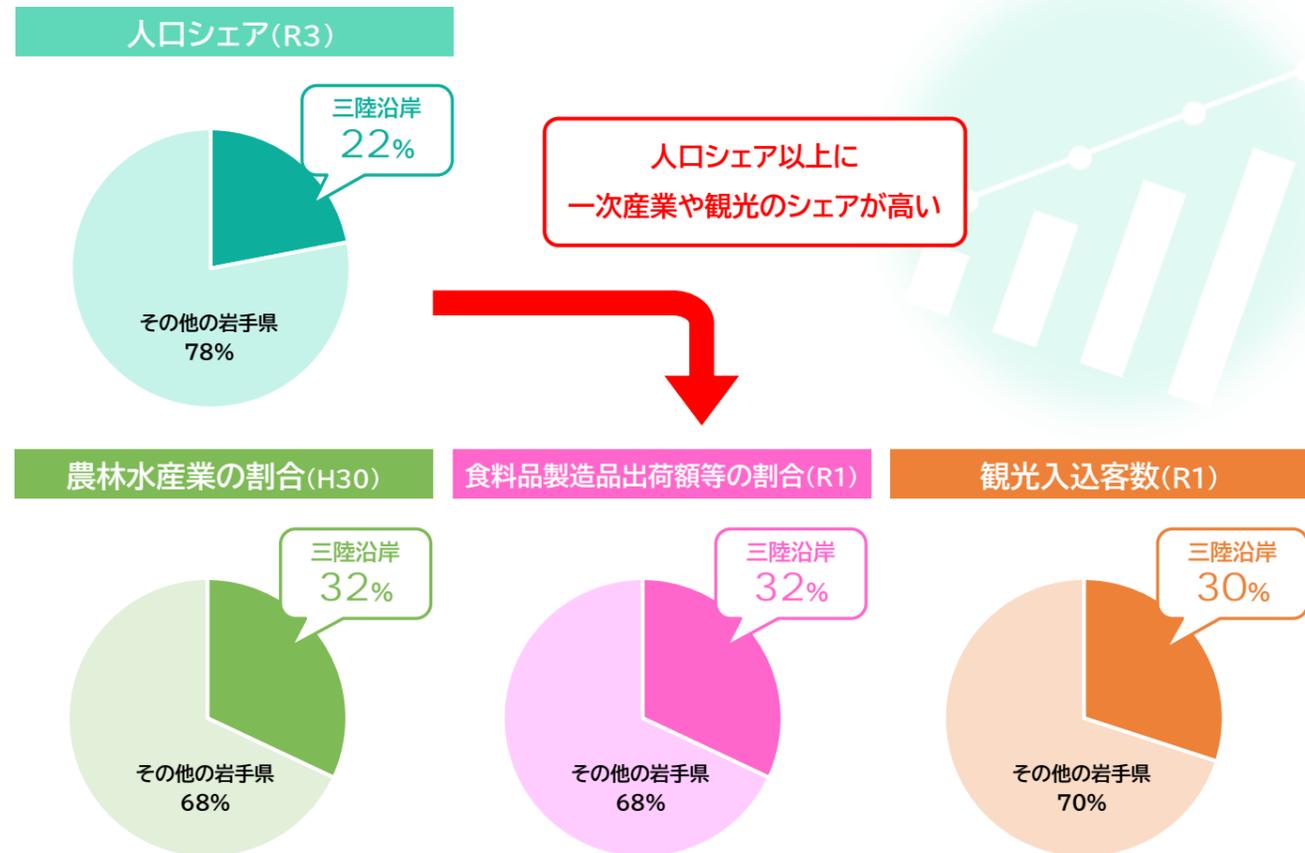


## 人口減少や高齢化が厳しい課題先進地



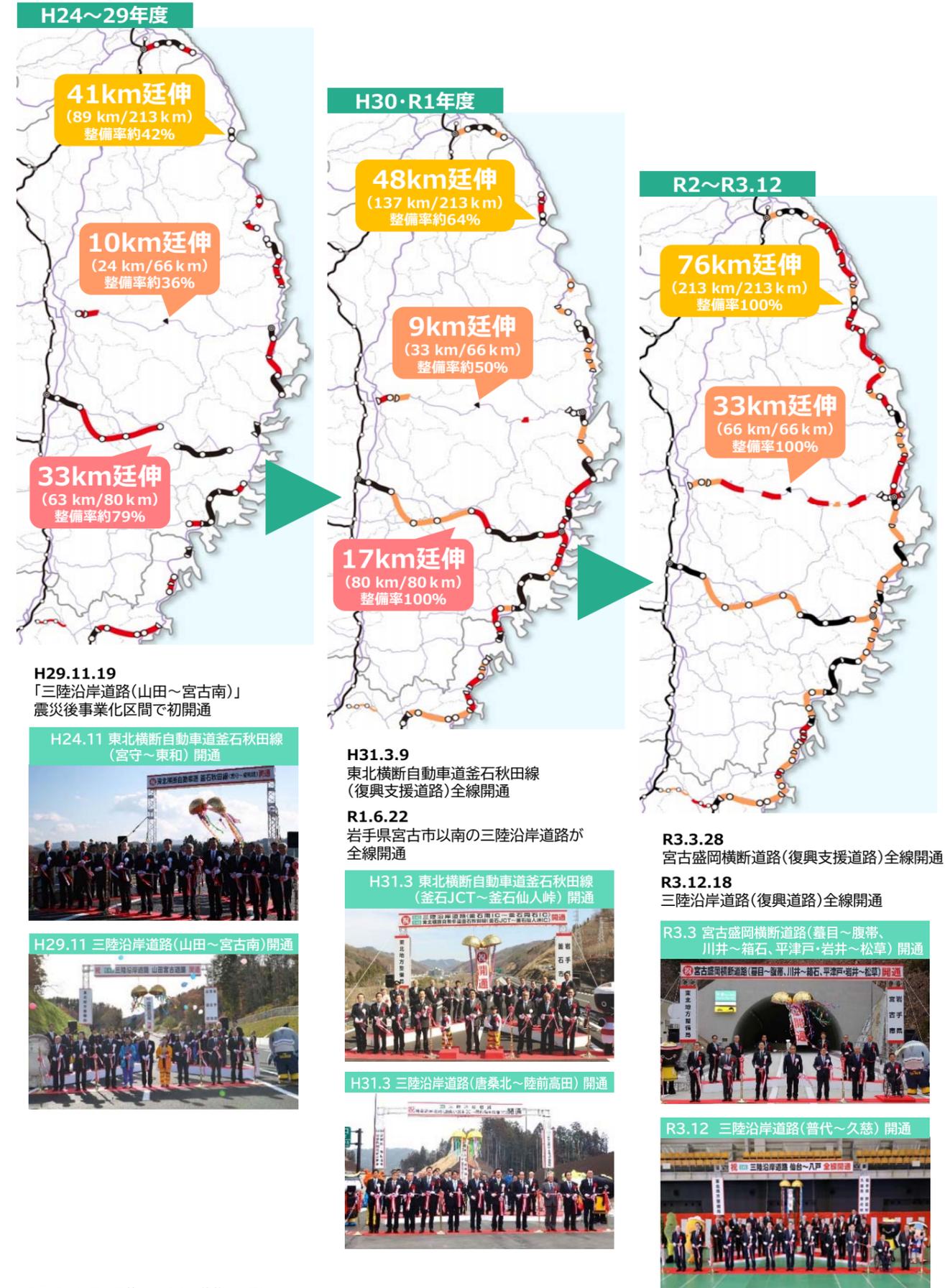
※三陸沿岸:宮古市・大船渡市・遠野市・久慈市・陸前高田市・釜石市・住田町・大槌町・山田町・岩泉町・田野畑村・菅代村・野田村・洋野町  
資料:住民基本台帳人口及び世帯数(岩手県)

## 同時に、一次産業や観光など魅力溢れる地域



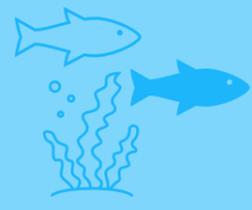
資料:住民基本台帳人口及び世帯数(岩手県)、岩手県市町村経済計算、岩手県の工業、岩手県観光統計

## 開通区間の変遷



※延長については四捨五入により整数としている。

# 水産業を応援する 復興道路・復興支援道路



- 三陸沿岸エリアには、多数の漁港が存在、水産加工業の出荷額等は震災前の水準を上回る
- 復興道路・復興支援道路は、所要時間短縮により、水産品のより鮮度の高い輸送や生産活動の強化など、三陸沿岸エリアの水産業を応援します



写真：公益財団法人 岩手県観光協会

## 三陸沿岸地域の水揚金額



## 青森県・岩手県漁獲量全国上位の水産物

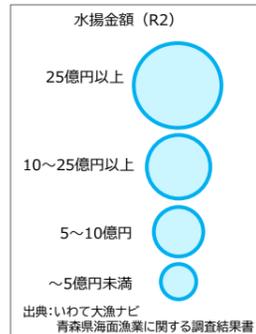
全国シェア **1位** (18%)  
岩手県 **あわび**

全国シェア **2位** (28%)  
岩手県 **わかめ**

全国シェア **2位** (13%)  
岩手県 **さんま**

全国シェア **2位** (23%)  
岩手県 **こんぶ**

全国シェア **2位** (8%)  
岩手県 **まだら**



写真：いわて食材倶楽部(岩手県農林水産部流通課)  
シェア：漁業・養殖業生産統計(農林水産省)

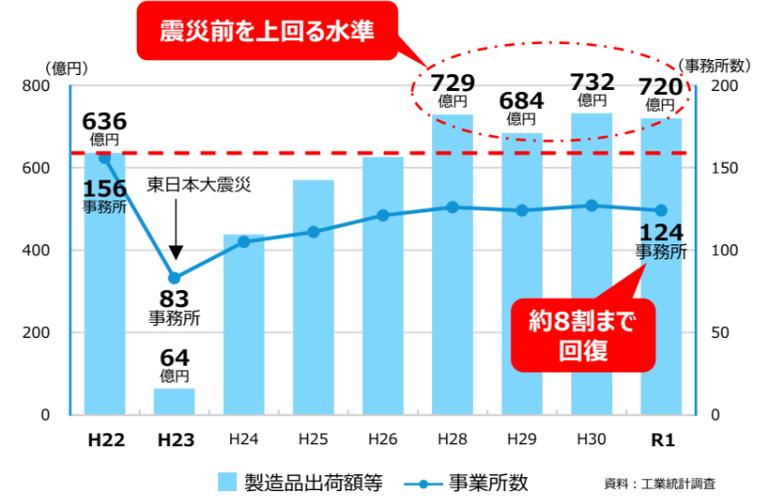
## 多くの漁港と水産業者を支える 三陸沿岸道路沿いに漁港・水産加工業者が多数立地

岩手県内三陸沿岸地域の漁港と水産加工業者数



資料 漁港：岩手の沿岸漁業(R2年度版)  
水産加工業者：岩手県提供資料

## 岩手県内の水産加工業における 製造品出荷額等及び事業所数の推移



資料：工業統計調査

## 震災以後に完成した宮古市の水産加工会社の例 (H26完成)

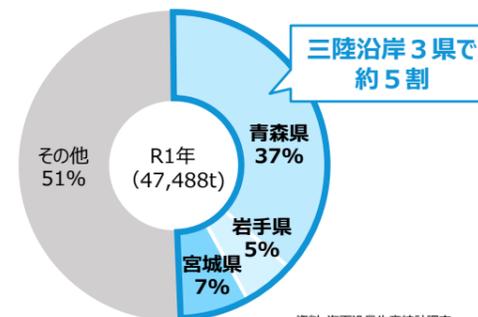


写真：共和水産株式会社

## 全国の水産品需要に応える より新鮮な水産物を全国に届ける



## いか類漁獲量の全国シェア(本州)



資料：海面漁業生産統計調査

## 全国シェア **1位** (24%) 青森県 **いか**



写真：八戸市

- 三陸沿岸道路の開通により、積極的に宮城県や青森県からも仕入れ可能となりました。
- 三陸は、以前は産地でしたが、各地から原料を集めて加工する加工地へと変化しています。(水産加工業者)



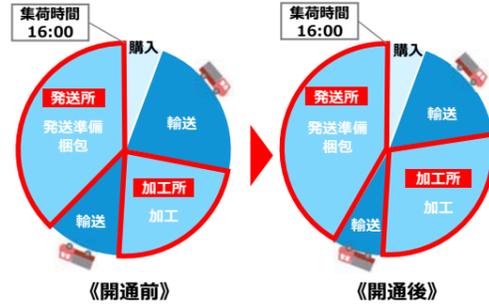
## 輸送時間短縮で作業工程を円滑化し 水産加工品の生産効率を向上

全国シェア **2位** (12%)  
岩手県 うに



写真:水産加工業者

### 輸送時間短縮による作業工程の変化 (ウニ加工品の例)



加工・梱包時間 → **約50分 拡大**

輸送時間短縮、加工・梱包時間に余裕

資料:企業ヒアリング調査結果



●輸送時間短縮によって、原料の加工から商品発送までの物流がスムーズになり、原料到着の待ち時間が減少し、作業効率が向上、残業時間の縮減につながっています。

(水産加工業者)

### 原料輸送時間の変化

#### ■洋野町～釜石市



#### ■気仙沼市～釜石市



## 朝水揚げされた三陸の海産物が昼過ぎには大阪に 岩手県産品の付加価値向上



●関西でも三陸沿岸の海産物をこれだけ鮮度よく食べられるなら売れると思います。(伊丹空港飲食店店長)



写真:空輸事業関係者



6 14:00 伊丹空港 到着

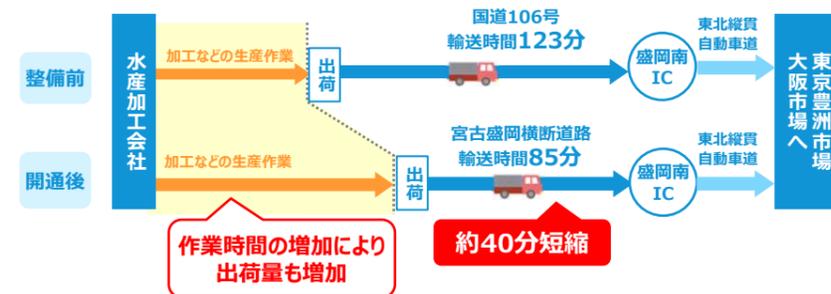
朝獲れた名産物も 昼すぎには 関西で販売!



大阪国際空港での販売状況 (ITAMI空の市) R3.12.17-18

## 復興支援道路により東京・大阪の市場まで約40分短縮 三陸沿岸の水産品をより早く届ける

### 東京豊洲市場・大阪市場への出荷フローイメージ

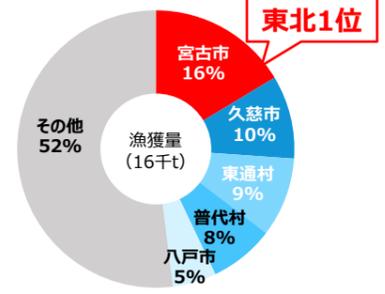


- サケやサンマは東京豊洲市場、大阪市場へ輸送しており、宮古盛岡横断道路を利用し、盛岡南ICから東北縦貫自動車道を利用して南下しています。
- 所要時間が短縮されれば、その分を生産時間に充てられ、生産量増加につなげられます。

(水産加工業者)



### 東北地方の「さけ・ます類」の市町村別漁獲量



資料:H30海面漁業生産統計調査

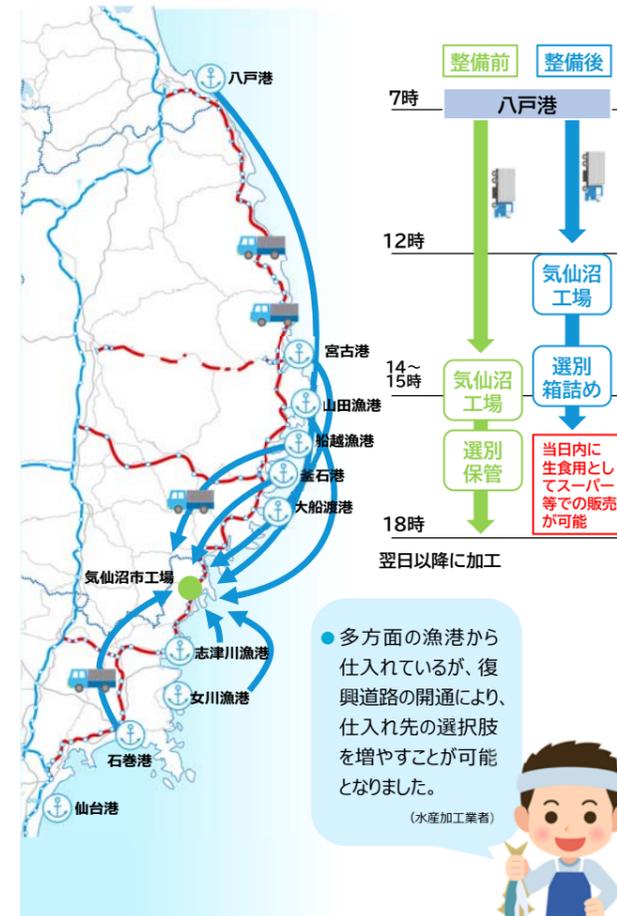


全国シェア **3位** (3%)  
岩手県 さけ・ます

写真:いわて食材倶楽部(岩手県農林水産部流通課)

## 石巻港～八戸港まで約300kmが射程 原料調達の広域化により生産安定化

### 気仙沼の工場への仕入れ状況



●多方面の漁港から仕入れているが、復興道路の開通により、仕入れ先の選択肢を増やすことが可能となりました。

(水産加工業者)



## 県を越えた三陸沿岸エリアの連携 タッグを組んで水産品を海外輸出

### 三陸コーポレーション共同出資会社



個社では不足する海外輸出の経験・ノウハウ・ブランド力を強化

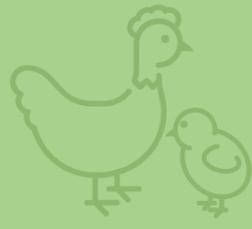


統一ブランド「SANRIKU」として 海外市場で展開 (約100品目)

出典:株式会社三陸コーポレーション資料



# 農畜産業を応援する 復興道路・復興支援道路



- 復興道路の整備を契機に沿線地域では工場の増設新設が進展
- 復興道路・復興支援道路は、所要時間短縮や走行安定性の向上により、農畜産品の円滑な輸送や特産品の販路拡大を応援します

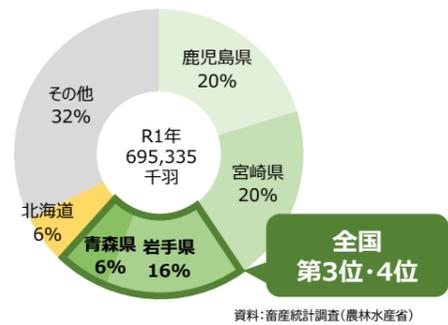


## 三陸沿岸道路開通により、工場新設や冬期の安定輸送を支援

久慈市の鶏肉加工工場から関東方面への出荷ルート



ブロイラー出荷羽数の全国シェア



久慈市の鶏肉加工工場の鶏肉出荷量



- 三陸沿岸道路の整備が一つの要因となり、これまで工場の増設や新設等の設備投資を行っています。
  - 三陸沿岸道路の開通後、関東方面への出荷ルートが変化することで輸送コストの削減や冬期における通行止め等のリスク軽減に繋がります。
- (鶏肉加工業者)



## 地元をもっと盛り上げる 特産品の販路拡大



写真:田野畑村牛乳製造工場提供

- これまでの三陸沿岸道路の開通で、運搬時間が短縮したことにより、ドライバーの運転疲労軽減や燃料費の削減等が図られています。
- 今後、三陸沿岸道路全線開通により、更に円滑な物流が可能となることから、販路の拡大を検討しています。

(田野畑村牛乳製造工場)



## イベントや製造見学も 特産品を生かしたワイナリーを支援



写真:野田村

写真:野田村観光協会

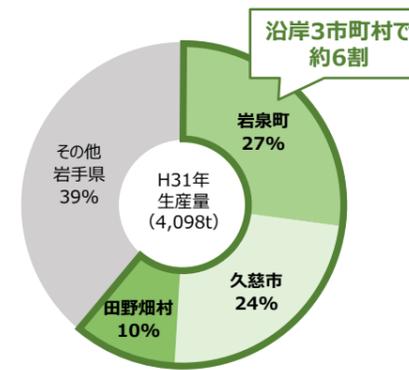
- これまでの三陸沿岸道路の整備のおかげで、普代村以南の沿岸地域からの来訪者が増加しています。
- 三陸沿岸道路の整備が進み、令和2年からイベントに力を入れ始めています。
- 全線開通により周遊性が向上し、休憩や製造見学などの立ち寄り増加、交流人口の拡大に期待しています。

(ワイナリー管理者)



## 自慢のしいたけを早く大切に運べる 新たな直販ルートの実現を応援

しいたけ(菌床)生産量の県内シェア



しいたけの  
東京都中央卸売市場シェア  
岩手県全国1位 (約20%)

- 三陸沿岸道路を利用することで、国道45号利用時に比べて、想定以上に商品の傷みが少なくなりました。
- 三陸沿岸道路の整備が進んだことで、新たな直販ルートを試行中であり、配送先の選択肢の拡大や自社ブランドとして購入者との直接の価格交渉が可能になります。

(田野畑村しいたけ生産企業)



## 全国でも人気の岩手木炭 日本一の炭の里を応援



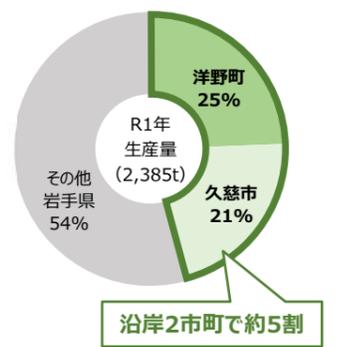
写真:久慈市

木炭生産量の全国シェア  
岩手県全国1位 (約28%)

- 固定炭素90%で不純物が少なく、品質が抜群
- 優れた燃焼特性
- ▶スピード着火・パワフル火力 ▶炎が上がらない
- ▶ニオイや煙が出ない ▶炭が弾け飛ばず安全



木炭生産量の県内シェア



# 観光を応援する 復興道路・復興支援道路



- 三陸沿岸エリアでは、震災直後、観光入込客数がH22の約7割まで落ち込んだが、現在は同水準まで回復
- 復興道路・復興支援道路は、所要時間短縮により、周遊観光エリアの拡大や震災伝承ツアーの充実など、三陸沿岸エリアの観光を応援します

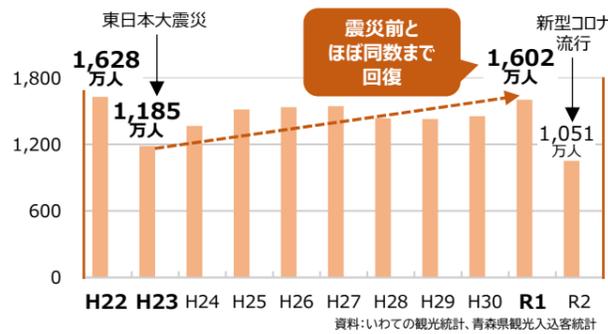


高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設  
写真：同施設

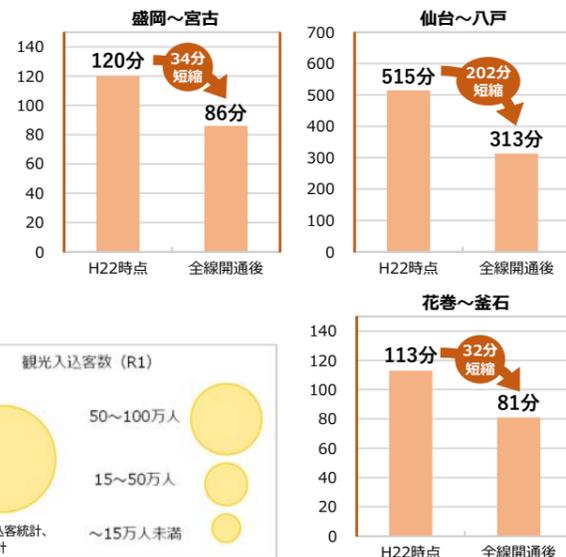
## 三陸沿岸地域の観光入込客数



## 観光入込客数の推移(三陸沿岸エリア)



## 復興道路・復興支援道路開通による 所要時間の短縮



## 復興道路・復興支援道路沿線に 新たな観光施設が続々オープン

①はしかみハマの駅  
あるでいーば (階上町)

写真：階上町

2018年5月にオープンした浜の賑わい拠点施設。地元で水揚げされた魚介類が並ぶ直売所や階上漁協女性部が手掛ける軽食などが人気。太平洋を一望できるレストランでは旬の魚を使用したメニューを提供している。

**階上IC から約10分**

②ひろの水産会館 UNIQUE  
(洋野町)

写真：洋野町

復興のシンボルとして、種市ふるさと物産館、ウニ等高度加工研修センター跡地に2014年3月オープン。白い客船をイメージした外観で水産直売所、地元食材を扱う軽食コーナー、特産品の展示コーナーがある。

**洋野種市IC から約6分**

③ほたてんぼうだい  
(野田村)

写真：野田村観光協会

2017年にオープンした、野田村の特産品であるホタテをモチーフにしたデザインが特徴的な展望休憩施設。十ヶ浦海岸を一望でき、施設内の展示では野田村の歴史や文化を知ることが出来る。

**野田IC から約5分**

④崎山貝塚縄文の森  
ミュージアム (宮古市)

写真：宮古市

2016年7月にオープンし、埋蔵文化センターのほか、崎山公民館や市の崎山出張所も併設されている。国指定史跡崎山貝塚から出土した展示のほか縄文体験も楽しめる。

**宮古北IC から約7分**

⑤釜石鶴住居復興スタジアム  
(釜石市)

写真：釜石市

2019年アジア初開催のラグビーワールドカップで使用され、大きな話題となった。震災で被害を受けた小中学校跡地に建設され、防災の考え方を広く発信しながら震災の記憶と防災の知恵を伝える。

**釜石北IC から約4分**

⑥こども本の森 遠野  
(遠野市)

写真：当施設

東日本大震災からの復興のシンボルとして建築家安藤忠雄氏が設計・建築し後方支援拠点となった遠野市に寄付した。蔵書は全国からの寄贈を中心に約13,000冊が壁一面に並べられ2021年7月にオープンした。

**遠野IC から約5分**

⑦キャッセン大船渡  
(大船渡市)

写真：大船渡市

2016年4月にオープンした、「モール&パティオ」「フードヴィレッジ」に、地元の飲食店や商店を中心とした約30の店舗が集まっている商業施設。イベントや出張販売も豊富。

**大船渡碓石海岸IC から約7分**

⑧陸前高田発酵パークCAMOCY  
(陸前高田市)

写真：陸前高田市

江戸時代から醸造業が盛んだった今泉地区にて、2020年12月にオープンした発酵をテーマにした複合施設。発酵文化を学びながら、三陸の魚や野菜などを使用した体に優しい発酵食が食べられる。

**陸前高田IC から約5分**

## 復興道路・復興支援道路が ラグビーワールドカップ2019™釜石開催の成功に寄与



復興道路・復興支援道路により  
釜石市と宿泊施設や空港・新幹線駅等の  
交通拠点とのアクセス性が向上。  
来場する観客や選手・スタッフ等の円滑な  
移動に大きく寄与。

## 大会当日のライナーバス等の運行状況



● 復興道路・復興支援道路がなければ東京からの日帰りを想定した運行計画を組めませんでした。(旅行者)

● 復興道路・復興支援道路があることで、計画上の輸送時間を超過することなく、スムーズに運行できました。この道路がなければ内陸からバスで運ぶという発想も無かったと思います。(岩手県ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委員会)

# 復興道路・復興支援道路沿線に広がる ジオパークを盛り上げる

## 三陸ジオパークと震災伝承施設



: 三陸ジオパーク
 ● : ジオサイト  
 : 震災伝承施設 (第3分類)

### ジオパーク・ジオサイトとは

- ジオパークは世界遺産などと同様に、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が推進しているプログラムです。
- 国際的な価値のある地質遺産を保護しながら、環境教育、ジオツーリズムといった分野に活用することで、地域の持続可能な開発を促します。
- また、ジオパークの大地のなりたちがわかる見どころを「ジオサイト」と呼びます。

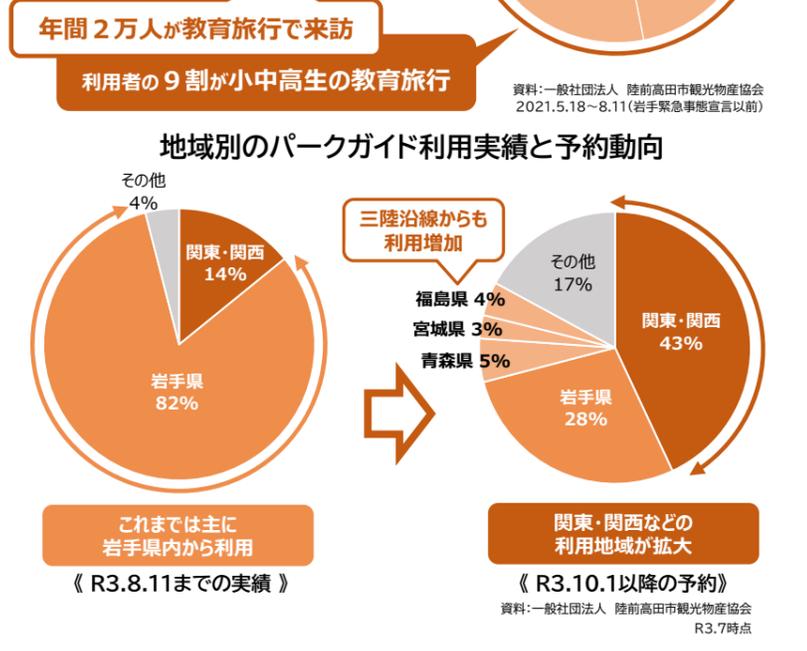
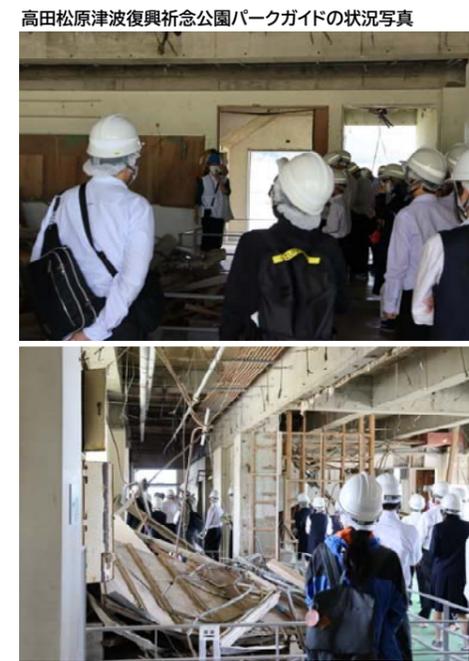
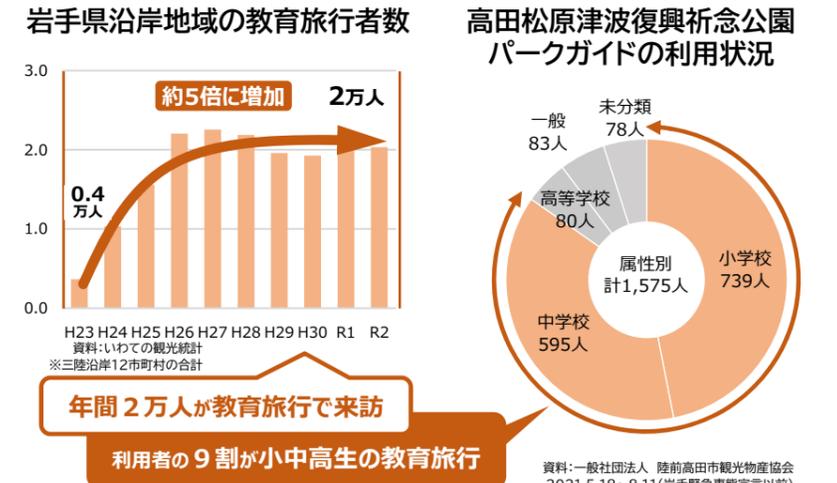
<b>蕪島(八戸市)</b>  写真:東北地方整備局	<b>階上岳(階上町)</b>  写真:東北地方整備局
<b>黒崎(曾代村)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会	<b>北山崎(田野畑村)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会
<b>龍泉洞(岩泉町)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会	<b>浄土ヶ浜(宮古市)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会
<b>山田湾とオランダ島(山田町)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会	<b>浪板海岸(大槌町)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会
<b>滝観洞(住田町)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会	<b>碓石海岸(大船渡市)</b>  写真:公益財団法人 岩手県観光協会

# 震災の記憶を巡る 復興道路沿線の震災伝承施設

<b>地下水族科学館 もぐらんぴあ</b>  写真:東北地方整備局 久慈北IC から約7分	<b>津波遺構 たろう観光ホテル</b>  写真:東北地方整備局 田老真崎海岸IC から約4分
<b>釜石祈りのパーク</b>  写真:東北地方整備局 釜石北IC から約4分	<b>高田松原国営追悼・祈念施設</b>  写真:東北地方整備局 陸前高田IC 陸前高田長部IC から約5分

**震災伝承施設とは**

- ①災害の教訓が理解できるもの
- ②災害時の防災に貢献できるもの
- ③災害の恐怖や自然の畏怖(いふ)を理解できるもの
- ④災害における歴史的・学術的価値があるもの
- ⑤その他、災害の実情や教訓の伝承と認められるもの



# 企業活動を応援する 復興道路・復興支援道路



- 復興道路・復興支援道路沿線では、大船渡市や釜石市を中心に工場立地・増設が進展
- 所要時間短縮や定時性、走行安定性の向上により、沿線地域への進出や輸送効率の向上など、三陸沿岸エリアの企業活動を応援します



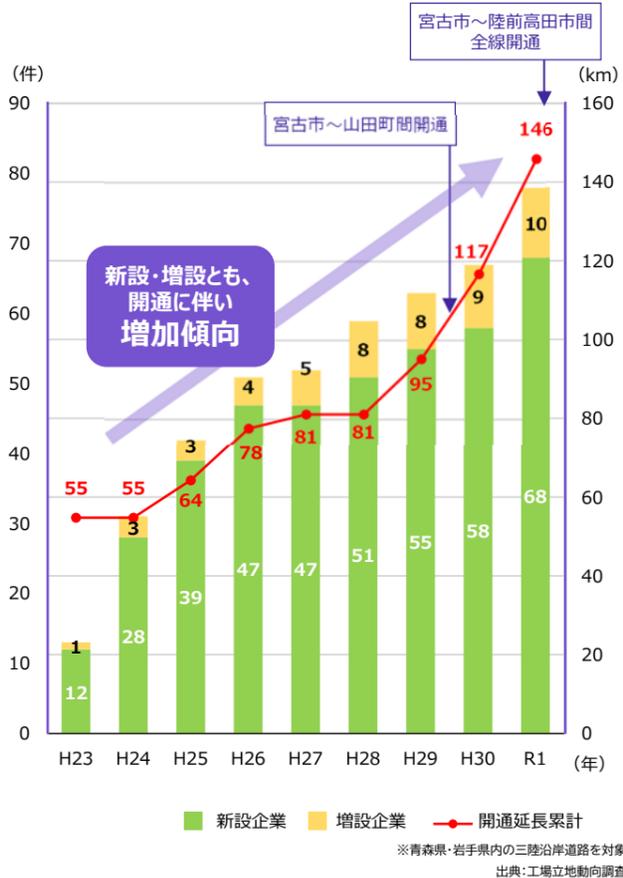
写真：釜石市

## 復興道路沿線における 累積企業立地状況

### 復興道路沿線の企業立地



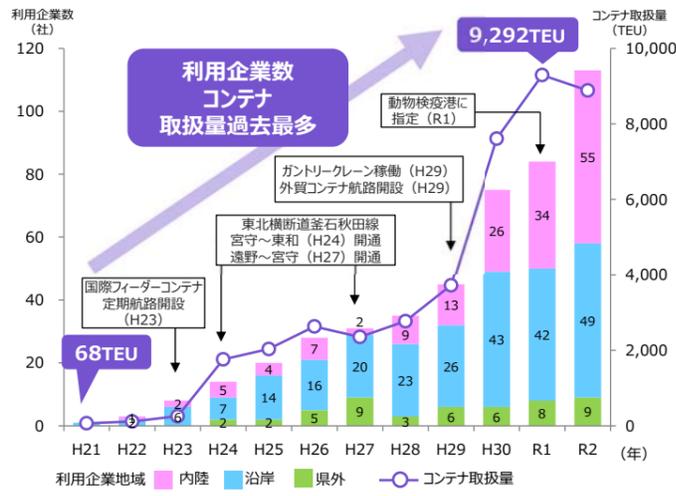
## 復興道路沿線市町村の累積企業立地件数の推移 (青森県・岩手県)



※青森県・岩手県内の三陸沿岸道路を対象  
出典：工場立地動向調査

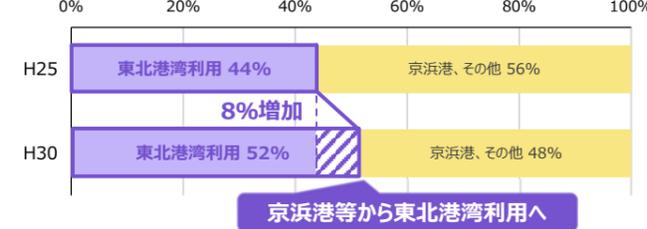
## 復興道路・復興支援道路の 沿線地域への企業進出を支援

### 釜石港利用企業数・コンテナ取扱量の推移



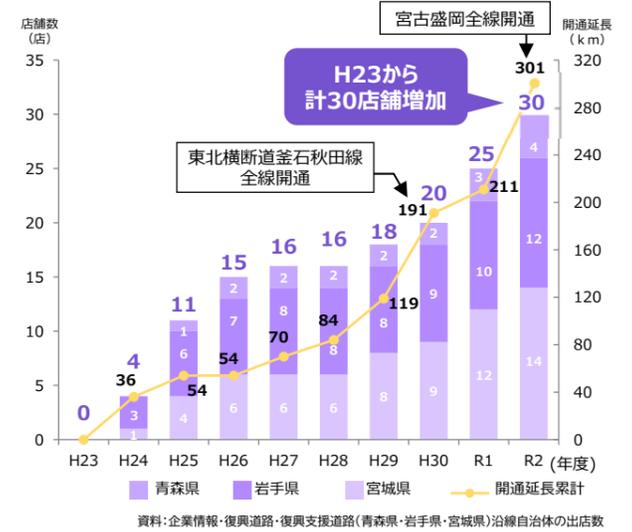
資料：釜石市

### 岩手県発着の輸出入コンテナの利用港湾割合



資料：全国輸出入コンテナ貨物流動調査(各年11月調査)

### 日用雑貨取扱企業の出店数の推移



資料：企業情報・復興道路・復興支援道路(青森県・岩手県・宮城県)沿線自治体の出店数

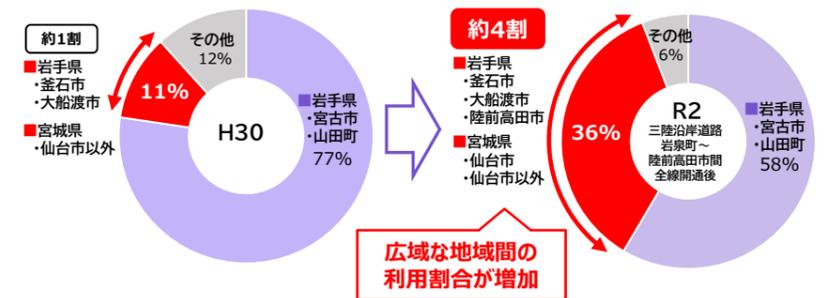
- 陸上輸送コストの低減と輸送時間短縮が可能となったため、釜石港からの輸送を開始しました。
- 港から輸送拠点までの輸送環境が整備されたことで、商品の安定供給につながっています。
- 復興道路等の開通後は、配達担当ドライバーの残業時間削減にもつながっており、輸送に関わる経費を抑えることができています。



## 三陸沿岸道路と東北自動車道による南北の2軸を形成 物流効率化を支援



### 三陸沿岸道路を利用する大型車の八戸市発着OD※割合 (分析断面：三陸沿岸道路 久慈IC～久慈北IC)



資料：商用車プローブデータ(対象期間：各年9月～10月)  
※ODとは、出発地(O:Origin)と目的地(D:Destination)の間のこと

- 代替性の確保で東北道との高速ダブルネットワークが形成され、一年通した安定輸送が可能となりました。
- 久慈市から宮古方面及び八戸方面への輸送経路として三陸沿岸道路を利用しています。三陸沿岸道路開通により久慈～宮古方面が約30分短縮になりました。また、久慈～八戸方面も約30分短縮になり、より安全に輸送することが可能となりました。

(物流業者)

## 国内トップシェアの造船会社の 造船用部品輸送を支える

造船国内トップシェア 造船会社  
八戸本社工場で製造されるケミカルタンカー

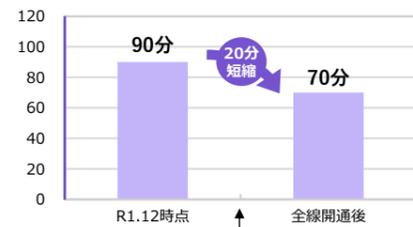


写真:造船会社



写真:造船会社

### 久慈工場から八戸本社工場までの輸送時間の変化 (セミトレーラにおける輸送時間)



久慈北IC~待浜IC 洋野南IC~階上IC 開通

出典:平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査 (昼間非混雑時・上下平均速度) および開通区間の設計速度をもとに算出したものを、事業者のセミトレーラ実所要時間で補正



●開通によって輸送時間が短縮されることで、その他の事務作業等にも時間を費やすことができ、業務の効率化が図られます。また、新たな輸送体制の検討も可能になります。  
(造船会社)



## 世界トップシェアの空気圧制御機械メーカーの 短納期への対応や安定供給を支援

空気圧制御機械を使用した産業機械の例

※あらゆる産業分野の自動化に欠かせないキーデバイス



電子部品実装装置



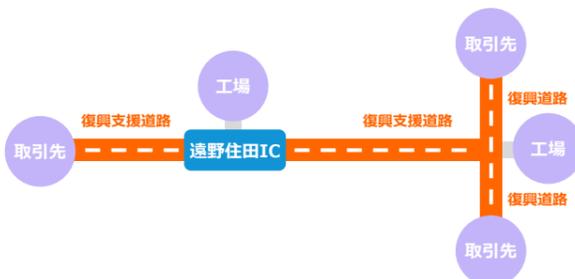
酸素濃縮器



自動車生産ライン

写真:空気圧制御機械メーカー

写真:shin / PIXTA(ピクスタ)



●復興道路・復興支援道路の整備で、顧客への商品到着の短縮に加え、工場間の連携がとりやすくなりました。  
●輸送時の破損や事故・通行止めリスクが低減され、荷物運搬時の荷崩れ等に対して、「不安」から「安心」へと安心度が増しました。  
(空気圧制御機械メーカー)



## 揺れの少ない復興支援道路で 精密機器の安定輸送を支える

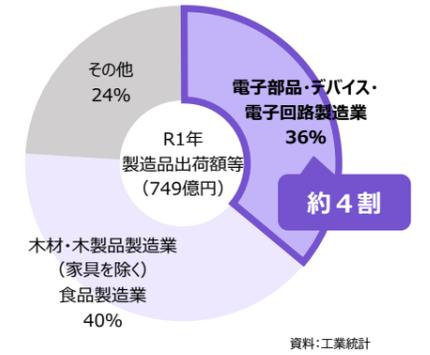
岩手県のコネクタ出荷額 全国6位

コネクタの製造イメージ



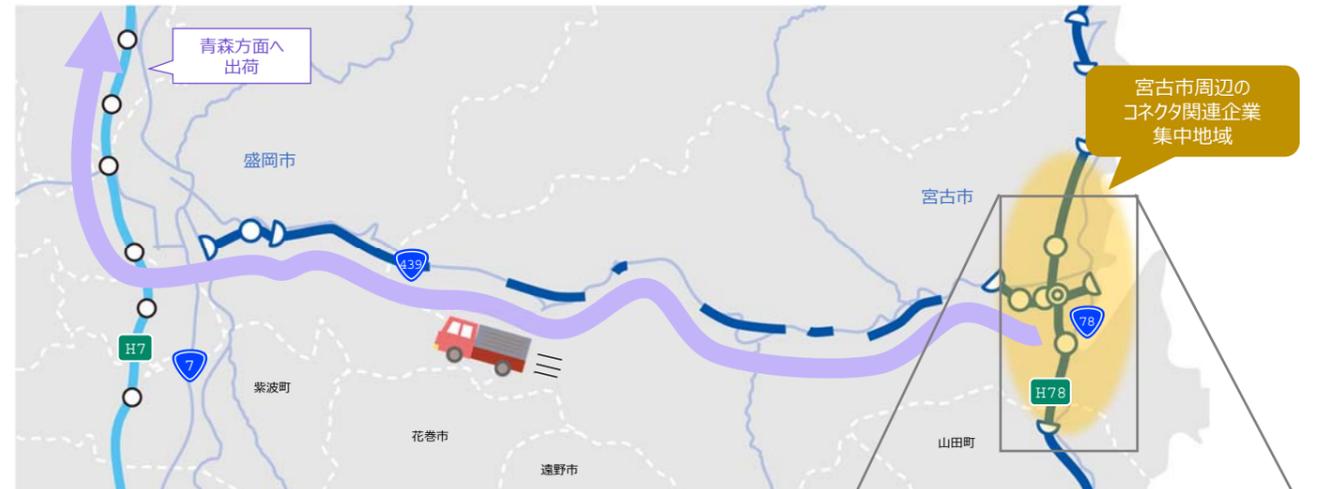
※コネクタ:機器と機器を接続するケーブルの接続部分の部品・器具のこと。

### 宮古市の製造品出荷額等内訳



資料:工業統計

### 宮古市周辺企業のコネクタ出荷経路



急カーブの連続がなく  
揺れの少ない走行が可能に。  
製品を大切に  
スムーズに届ける。

●宮古盛岡横断道路は、旧道のような急カーブの連続がなく、とても走りやすいと感じました。  
●全線開通後は、冬季及び事故発生時における荷物の到着・出荷の遅れ・製品の変形不良等が激減し、納期遅れの心配が軽減されお客様の信頼性が向上すると思います。  
(コネクタ製造企業)



●:コネクタ企業立地場所

# 復興まちづくりを応援する 復興道路・復興支援道路



- 三陸沿岸エリアでは、防災集団移転促進事業や災害公営住宅などの復興まちづくり事業が進み、約9割が復興道路・復興支援道路のICから5km圏内に存在
- 復興道路・復興支援道路は、所要時間短縮やきめ細かいIC配置により、新たな市街地からの買い物や通勤、通学、通院の利便性確保など、三陸沿岸エリアの復興まちづくりを応援します



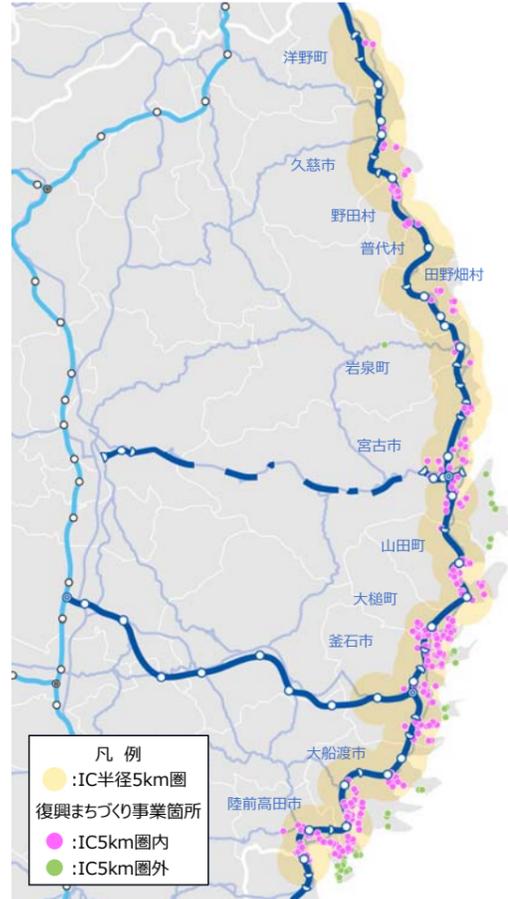
宮古市田老



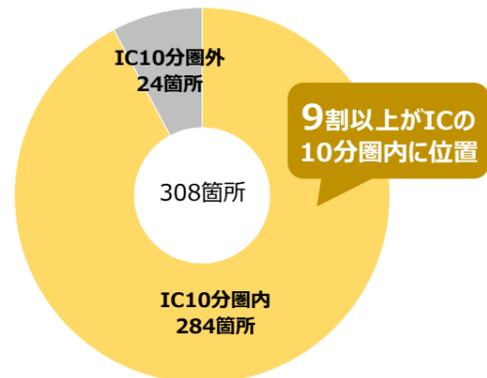
野田村

写真：各市町村

## 復興道路沿線の復興まちづくり



## 復興道路ICからの時間



出典：岩手県 社会資本の復旧・復興ロードマップ（R3.3末時点）  
※復興まちづくり事業（防災集団移転促進事業、土地区画整理事業、津波復興拠点整備事業、災害公営住宅整備事業）を対象 ※各事業の対象地域は岩手県沿岸市町村

## 岩手県内のIC設置間隔

	平均IC間隔
東北自動車道 (一関IC～軽米IC)	9.6km/箇所
三陸沿岸道路 (陸前高田長部IC～洋野種IC)	5.3km/箇所

IC間隔が1/2  
(アクセス性2倍)

(R4.3時点)

## 復興まちづくりと一体となった復興道路

### 野田村



- :防災集団移転促進事業
- :被災市街地復興土地区画整理事業・津波復興拠点整備事業

**H28年度**

- 城内・米田・南浜地区 防災集団移転促進事業完成

**H29年度**

- 久慈都市計画城内地区津波復興土地区画整理事業完成

**R3年度**

- 普代～久慈間開通
- 三陸沿岸道路全線開通

● 復興道路のICと復興事業で造成した団地が近接することで、通勤・通学の選択肢が増えるほか、迅速な医療、高度な医療を受けることが可能になり、住民の生活の質向上に大きく影響してくると思うので、期待しています。

(野田村)

### 宮古市 田老



**H27年度**

- 田老地区防災集団移転促進事業宅地造成工事完成
- 田老地区被災市街地復興土地区画整理事業完成

**H29年度**

- 田老真崎海岸IC～岩泉龍泉洞IC間開通

**R2年度**

- 田老総合事務所移転
- 宮古中央JCT～田老真崎海岸IC間開通

**R3年度**

- 三陸沿岸道路全線開通

● 移動時間が大幅に短縮され、通勤や買い物など多くの市民が利用しています。復興道路は、東日本大震災クラスの津波でも浸水しないことから、安心して通行できる正に「命の道路」です。

(宮古市)

### 山田町



**H26年度**

- 小谷高地区防災集団移転促進事業完成

**H28年度**

- 船越・田の浜、織笠地区防災集団移転促進事業完成
- 織笠、大沢地区被災市街地復興土地区画整理事業完成

**H29年度**

- 山田IC～宮古南IC開通
- 山田地区津波復興拠点整備事業完成

**H30年度**

- 山田地区防災集団移転促進事業完成
- 山田地区被災市街地復興土地区画整理事業完成

**R1年度**

- 山田 国道45号周辺地区被災市街地復興土地区画整理事業完成

**R2年度**

- 織笠地区（跡浜区域）被災市街地復興土地区画整理事業完成

**R3年度**

- 三陸沿岸道路全線開通

● 中核病院である岩手県立宮古病院への救急搬送時間が短縮されるなど、利便性の向上につながりました。● 今後は山田IC付近に「新たな観光拠点」として「道の駅」を整備する予定であり、たくさんの人を呼び込み、たくさんの人に喜んでもらう仕組みをつくります。

(山田町)

# 復興まちづくりと一体となった復興道路

## 大槌町



- : 防災集団移転促進事業
- : 被災市街地復興土地区画整理事業・津波復興拠点整備事業

<b>H28年度</b>	● 県立大槌病院開院
<b>H29年度</b>	● 町方、小枕・伸松地区防災集団移転促進事業完成 ● 町方地区震災復興土地区画整理事業完成
<b>H30年度</b>	● 大槌IC～山田南IC間開通 ● 安渡地区防災集団移転促進事業完成 ● 安渡地区震災復興土地区画整理事業完成
<b>R1年度</b>	● 釜石北IC～大槌IC間開通
<b>R3年度</b>	● 三陸沿岸道路全線開通

● 復興道路は通勤や通学など日常的に多く利用されています。また、救急搬送など医療の面でも搬送時間の短縮により大きな安心が得られました。  
● 新たな市街地が形成された今、活気あるまちづくりを進めるため復興道路の活用を図ってまいります。



(大槌町)

## 大船渡市



<b>H26年度</b>	● 佐野地区防災集団移転促進事業完成
<b>H27年度</b>	● 大船渡地区防災集団移転促進事業完成
<b>H29年度</b>	● 大船渡地区津波復興拠点整備事業完成
<b>H30年度</b>	● 大船渡地区被災市街地復興土地区画整理事業工事完成
<b>R3年度</b>	● 三陸沿岸道路全線開通

● 東日本大震災の発災当時、一部区間で供用済であった三陸沿岸道路が、命を繋ぐ道として救護活動や物資の輸送、その後の復旧・復興に重要な役割を果たしました。  
● 全線開通した三陸沿岸道路について、これまで以上に物流や観光、防災など様々な方面での活用を図りながら復興後のまちづくりを推進してまいります。



(大船渡市)

## 釜石市 鶉住居町



<b>H30年度</b>	● 大槌IC～山田南IC間開通
<b>R1年度</b>	● 釜石北IC～大槌IC間開通 ● 片岸地区被災市街地復興土地区画整理事業完成
<b>R2年度</b>	● 鶉住居地区被災市街地復興土地区画整理事業完成
<b>R3年度</b>	● 三陸沿岸道路全線開通

● 復興道路の完成により、通勤時に一般国道45号を利用していた方が分散化されたことにより、中心市街地の渋滞が緩和されました。  
● 復興道路・復興支援道路の完成により利便性が増し、港湾利用企業が増加しており、今後も利活用の推進を図ってまいります。



(釜石市)

## 陸前高田市



<b>H25年度</b>	● 陸前高田IC～通岡IC間開通
<b>H29年度</b>	● 県立高田病院開院
<b>H30年度</b>	● 陸前高田長部IC～陸前高田IC間開通
<b>R1年度</b>	● 高田松原津波復興祈念公園一部利用開始
<b>R2年度</b>	● 【新】陸前高田市役所完成
<b>R3年度</b>	● 三陸沿岸道路全線開通 ● 高田、今泉地区土地区画整理事業完成

● 全線開通した復興道路を活用し、様々なイベント等により賑わいの創出や交流人口の拡大を図りながら、魅力ある持続可能なまちづくりを進めます。



(陸前高田市)

# 災害時でも強靱な 復興道路・復興支援道路



- 三陸沿岸エリアでは、震災時、国道45号が寸断され、内陸部から迂回した救援活動を展開
- アクセスが良く、強靱な復興道路・復興支援道路は、迅速かつ効率的な救援活動など、沿線エリアの安全安心なくらしを応援します



## 三陸沿岸道路のルートは、津波浸水区域を95%回避

津波浸水区域



## 残り5%は高さのある橋梁で通過

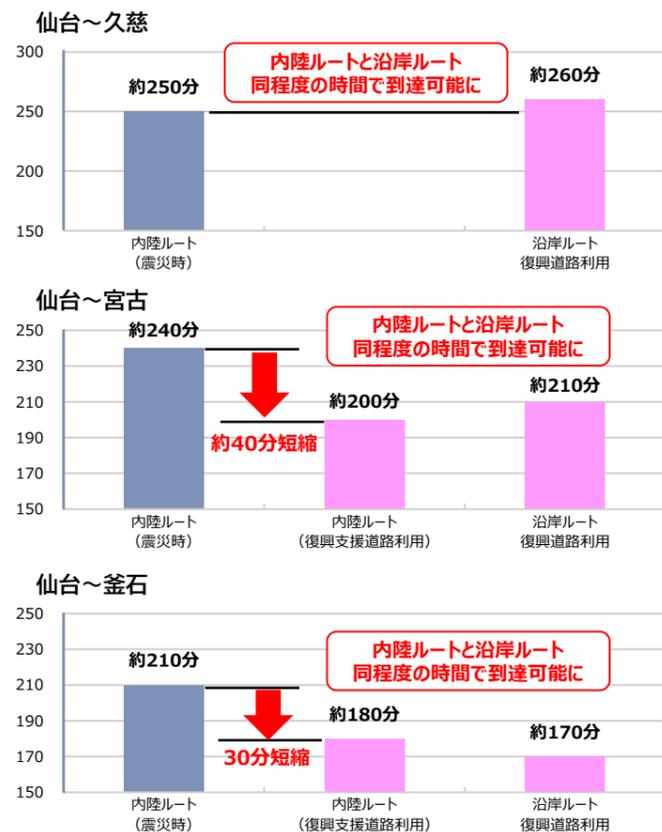


三陸沿岸道路と国道45号による**ダブルネットワーク**を形成  
災害時でも安定した通行が可能に

## 震災時のアクセス経路



## 復興道路・復興支援道路による所要時間



※市役所間の所要時間を算出。内陸ルートは東北道を利用したルートで算出  
※内陸ルート(震災時)の所要時間は震災時の実際の時間とは異なる  
出典:平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査(昼間非混雑時旅行速度により算出)

## 非常時に備え、 復興道路へ上がる避難階段を設置



### ダブルネットワークの効果が発現

- ◆R4.1.15のトンガ諸島大規模噴火に伴い岩手県に津波注意報・警報が発令。
- ◆国道45号の一部区間(津波浸水区間)が通行止めとなった。
- ◆三陸沿岸道路は通行止めを行わず、主要幹線道路として機能。



●実際に津波が来たようにしっかり臨めて良かったです。  
●津波が来たときに今日のように行動すれば安心ということが分かったので訓練して良かったです。  
(参加児童)

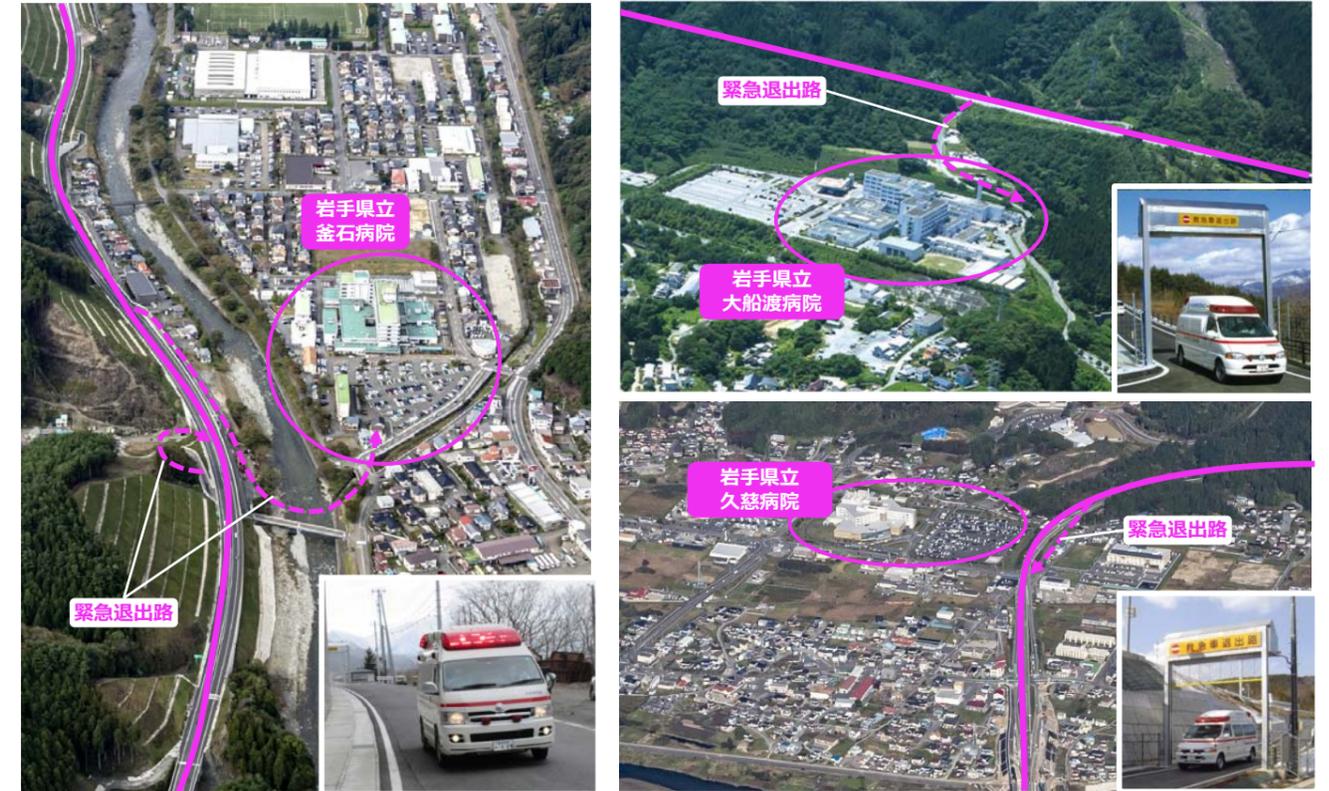
# 救急医療を応援する 復興道路・復興支援道路



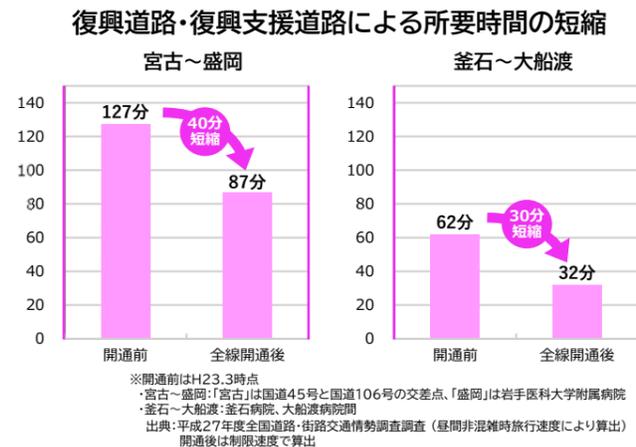
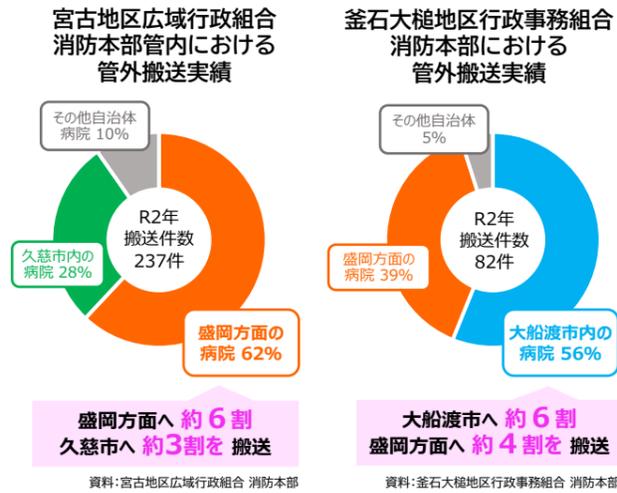
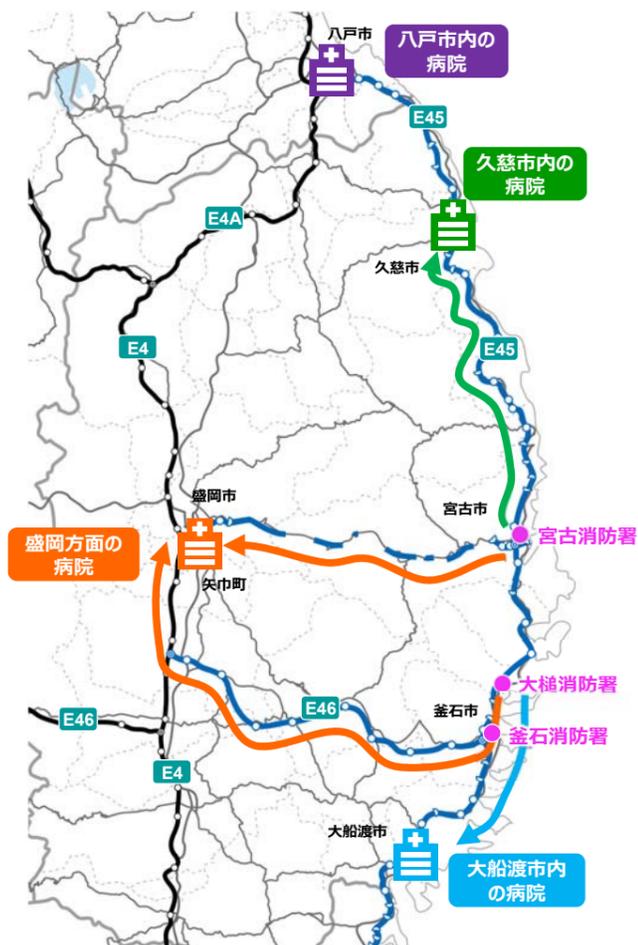
- 復興道路・復興支援道路の開通により、三次救急医療施設へのアクセス性が向上
- 所要時間短縮や走行安定性の向上により、迅速かつ揺れの少ない搬送が可能となり、三陸沿岸エリアの救急医療活動を応援します



## 復興道路・復興支援道路に直結 救急活動の迅速化で安心なくらしを守る



### 三次救急医療施設へのアクセス性が向上



### 線形不良箇所の回避により安心して通行可能に



急勾配、急カーブなどの線形不良箇所がゼロに

線形不良箇所数	現道区間	開通区間
三陸沿岸道路	154箇所	0箇所
宮古盛岡横断道路	104箇所	0箇所
東北横断自動車道 釜石秋田線(釜石～花巻)	91箇所	0箇所

線形不良箇所:曲線半径150m以下、縦断勾配5%以上の場所を基準に測定

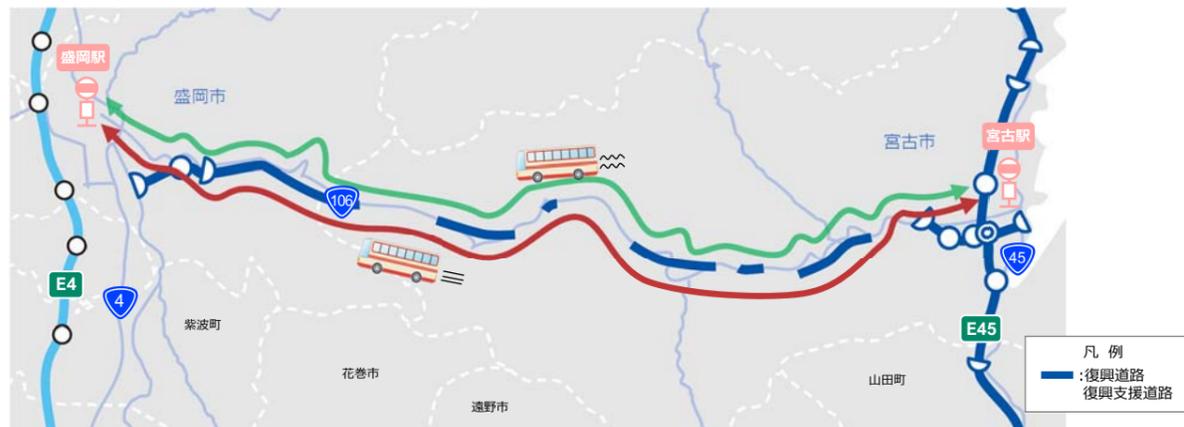
● 区界峠付近は急カーブ、急勾配が続く、特に冬季は重大事故の危険性が高い難所であったため、開通により危険が解消され、患者の負担軽減につながっています。  
(岩手医科大学附属病院)

# 高速バスや新幹線、道の駅と 連携する復興道路・復興支援道路

- 復興道路・復興支援道路は、所要時間短縮や定時性向上などにより、高速バスの利便性向上や貨客混載などの新たな取組みを応援します
- 復興道路・復興支援道路沿線の道の駅と連携し、地域活性化を応援します



## 宮古-盛岡間の高速バスの、所要時間短縮と安全性向上

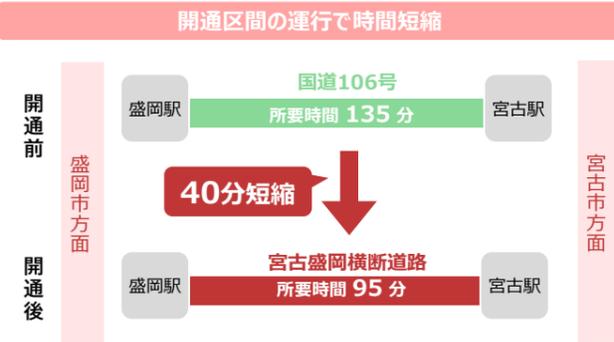


### 現行便

現道の交通量減少で安全性向上



### 宮古盛岡横断道路の 全線開通に伴い新設 特急便



出典:岩手県北バス時刻表

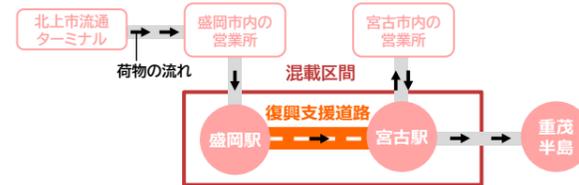
## 貨客混載で三陸の海産物を東京へ、 高速バスや新幹線による新たな取組みをアシスト

### 貨客混載バス「ヒトものバス」(平成27年~)

少ロットの農水産物を  
低コストで定期的に輸送することが可能



貨物スペース  
車両を改造し、  
座席に荷物専用  
スペースを確保



### 東北新幹線・バスによる貨客混載

輸送のスピード化で農水産物の鮮度を維持したまま首都圏へ  
コストの削減、業務効率化、ドライバー不足をサポート



写真:共同通信社



品川駅で販売された「瓶うに」と同様の商品

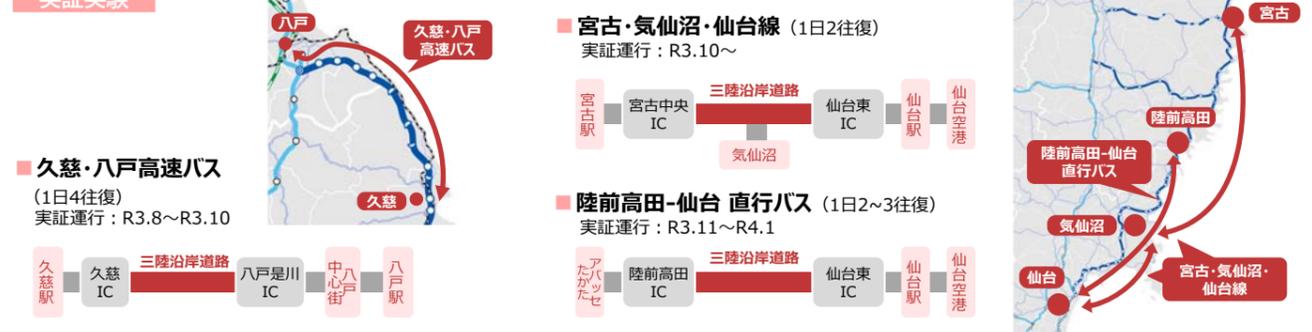
写真:公益財団法人 岩手県観光協会



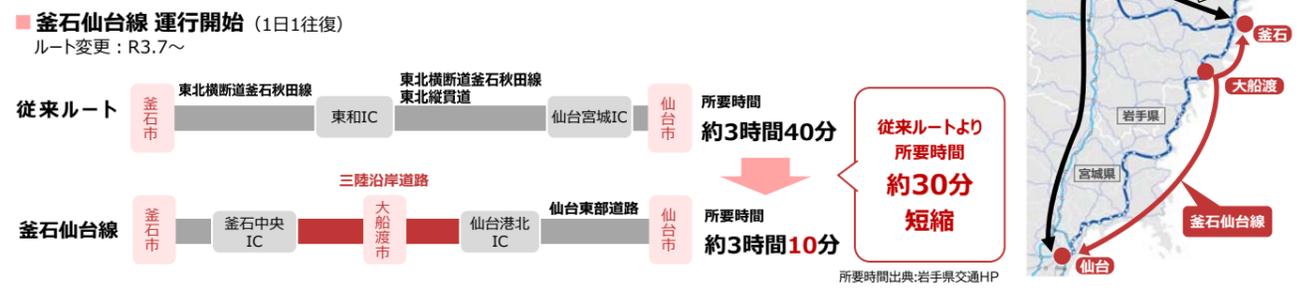
- 令和元年6月に行った東京・品川駅での販売・実証実験では、多くの消費者に購入いただき、連日完売となりました。
- 宮古盛岡横断道路の全線開通による、新規仕入先の増加や、生産者から店舗までの所要時間短縮による付加価値向上に期待しています。  
(水産流通プラットフォーム運営会社)

## 復興道路・復興支援道路を利用した、新たな高速バス運行

### 実証実験



### ルート変更



所要時間出典:岩手県交通HP

# 復興道路・復興支援道路沿線に道の駅が多数立地

## 青森・岩手県内の復興道路・復興支援道路沿線の「道の駅」位置図



### ①道の駅「はしかみ」(階上町)



写真:階上町

青森県で一番早く朝日が昇る町の道の駅。ブランド「階上早生」の手打ちそばやよもぎ餅などの実演販売が人気。敷地内には手作りパンやたこ焼・コーヒーなどの店が並ぶ。併設のレストランでは「いちご煮」などの伝統料理も味わえる。

種差海岸階上IC から約4分

### ②道の駅「おおの」おおのキャンパス (洋野町)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

国道395号の中間点に位置し、ドライバーや観光客の休憩の場、交流の拠点施設として利用されている。「食の館」では、郷土料理「ひつみ」や、赤鷄(みちのく赤鷄)を使用した「赤鷄ラーメン」が人気。

久慈北IC から約17分

### ③広域道の駅(久慈市、洋野町、野田村、普代村)



写真:三陸国道事務所

2023年4月にオープン予定。建物は南部曲がり屋をイメージしたL字形の木造平屋で、キッズスペースや鮮魚加工もできる物販施設を備える。

久慈北IC から約1分

### ④道の駅「くじ」やませ土風館 (久慈市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

観光交流センター「風の館」と物産館等「土の館」との複合施設「やませ土風館」としてサービスが提供されている。昭和の思い出博物館レトロ館など珍しい施設もあり。

久慈IC から約6分

### ⑤道の駅「のだ」(野田村)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

国道45号沿いにあり、1992年のオープン後、1993年に道の駅に指定。三陸鉄道リアス線の「陸中野田駅」、村営バス・市民バスの駅と、観光物産館、産直施設がドッキングした道の駅。

野田IC から約3分

### ⑥道の駅「青の国ふだい」(普代村)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2021年9月にオープン。三陸鉄道の普代駅に併設し、駅舎との一体運営による、交流、産業振興、情報発信拠点となることを目指す。

普代IC から約1分

### ⑦道の駅「たのはた」思惟の風 (田野畑村)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2021年4月にリニューアルオープン。旬の野菜や村の特産品を販売している。ファストフードコーナーでは、生乳をふんだんに使用した「たのはた生乳ソフト」が人気。

田野畑中央IC から約4分

### ⑧道の駅「いわいずみ」(岩泉町)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2016年の台風10号で被害を受けたが、2017年4月に営業を再開。日本名水百選に選ばれた「龍泉洞の水」を使った名水珈琲、全国に知られる「岩泉ヨーグルト」、「短角牛ステーキ」等の特産品を取り揃えている。

岩泉龍泉洞IC から約12分

### ⑩道の駅「みやこ」(宮古市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2013年7月にリニューアルオープン。新鮮魚貝類・山里の幸を取り揃えた物産販売コーナーやレストランがあり、総合案内・マルチビジョン・タッチパネル情報端末等で、道路情報や地域情報が提供されている。

宮古港IC から約6分

### ⑫道の駅「やまびこ館」(宮古市)



写真:(株)川井産業振興公社

国道4号、46号からアクセスされる国道106号沿いの緑豊かな山々に囲まれた道の駅。2021年4月には、大型複合遊具などを整備した「ドラゴンひろば」がオープン。

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路(終点部) から約6分

宮古盛岡横断道路 道留部道路(起点部) から約4分

### ⑭道の駅「釜石仙人峠」(釜石市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

東北横断自動車道の釜石仙人峠ICと一般国道283号との結節点に位置し、釜石と遠野方面への交通の要所となっている。

釜石仙人峠IC から約1分

### ⑯道の駅「みやもり」(遠野市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

岩手県の内陸部と沿岸部を結ぶ国道283号の中間で、旧宮守村の中心に位置。JR釜石線をSLが運行する日は県内外から沢山の人が訪れる。

宮守IC から約13分

### ⑱道の駅「さんりく」(大船渡市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2018年6月に、女性や子ども連れに配慮した、キッズトイレを備えたトイレを新築。三陸ICから南東約500m先の国道45号沿いにあり、アワビやホタテガイなどを、店内の水槽にて活きたまま販売している。

三陸IC から約1分

### ⑨道の駅「たろう」(宮古市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2016年に現在の場所に移転後、各施設の整備が完了した2018年に本格オープン。復興の拠点として、国土交通省から重点「道の駅」に認定されており、三陸ジオパークのゲートウェイとして位置付けられている。

田老南IC から約4分  
田老真崎海岸IC から約4分

### ⑪道の駅「区界高原」(宮古市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2021年春にリニューアルオープン。国道106号沿いにある宮古市の玄関口となる道の駅。名勝「兜明神岳」を背景に、自然豊かな風景が楽しめる。

宮古盛岡横断道路 区界道路(終点部) から約11分

宮古盛岡横断道路 区界道路(起点部) から約5分

### ⑬(仮称)新・道の駅「やまだ」(山田町)



写真:山田町

2022年度末、(仮称)新・道の駅「やまだ」として移転リニューアルオープン予定。三陸沿岸道路山田IC付近の旧県立山田病院跡地を利用。町の入り口に位置する、新たな観光の窓口。

山田IC から約1分

### ⑮道の駅「遠野風の丘」(遠野市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

2021年4月にリニューアルオープン。施設・駐車スペースともに従来の約1.3倍と大幅に拡張。周辺の観光案内機能や防災機能も強化し、地域拠点機能をグレードアップ。

遠野IC から約2分

### ⑰道の駅「とうわ」(花巻市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

東北横断自動車道の東和ICと隣接し、岩手県のほぼ中央に位置する。併設する東和温泉と宿泊施設、全国立き相撲大会で有名な成島三熊神社など観光の拠点。

東和IC から約1分

### ⑲道の駅「高田松原」(陸前高田市)



写真:岩手県「道の駅」連絡会

東日本大震災により被害を受け休館していたが、新たに重点「道の駅」に選定。高田松原津波復興祈念公園内に国営追悼・祈念施設、東日本大震災津波伝承館と共に、2019年9月にリニューアルオープン。

陸前高田IC 陸前高田長部IC から約5分

# 復興道路・復興支援道路への想い 沿線のリーダーたちの声

9

MESSAGES

P H V V D J H V

震災・復興10年  
進もう！  
次の東北へ  
(R4.3.11時点)

日頃より  
復興道路・復興支援道路沿線に  
おきまして復興を牽引されてきた  
県知事・市町村長の方々より、

- 今後の復興像
  - これまでの支援への感謝
- について、メッセージを頂きました。



岩手県知事  
達増 拓也



青森県知事  
三村 申吾



奥州市長  
小沢 昌記



花巻市長  
上田 東一



盛岡市長  
谷藤 裕明



住田町長  
神田 謙一



遠野市長  
多田 一彦



大槌町長  
平野 公三



宮古市長  
山本 正徳



田野畑村長  
佐々木 靖



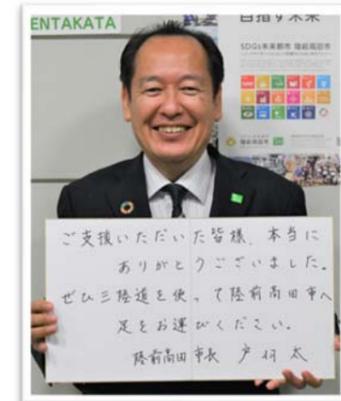
野田村長  
小田 祐士



洋野町長  
岡本 正善



八戸市長  
熊谷 雄一



陸前高田市長  
戸羽 太



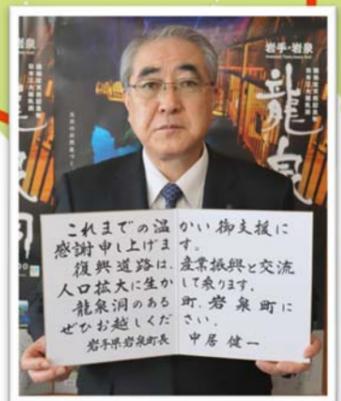
大船渡市長  
戸田 公明



釜石市長  
野田 武則



山田町長  
佐藤 信逸



岩泉町長  
中居 健一



普代村長  
榎屋 伸夫



久慈市長  
遠藤 譲一



階上町長  
荒谷 憲輝

復興道路・復興支援道路



# 沿線地域のみなさまの声



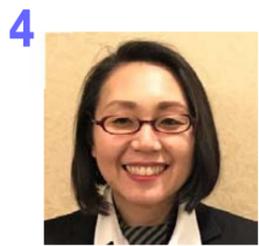
**1** 八戸港湾運送株式会社 接待 健一  
あれからの10年とこれからの未来をつなぐ道路だと思います。物流面はもちろん、様々な分野での貢献を期待しています。



**2** 三八五流通株式会社 専務取締役 泉山 和久  
復興道路ができたことで、青森岩手宮城をつなぐルートを選択肢が増えました。輸送の利便性向上のほか、観光業への効果も期待！



**3** 一般財団法人VISITはちのへ 理事長 塚原 隆市  
三陸沿岸道路の起終点である八戸。新たな人の流れや回遊性が生まれることを期待し長期滞在を促す仕掛けづくりを進めて参ります。



**4** 株式会社八戸パークホテル 松浦 芽久美  
復興道路で八戸市により多くのお客様を。地域に根付いたこのホテルで心を込めたおもてなし。皆様の心に感動と思い出を刻みます。



**5** 八戸缶詰株式会社 久慈工場 野田 一夫  
復興道路ができて原料・製品の移動が便利になった。何が本当に便利になったのかその理解次第で道路価値が変化する10年と思う。



**6** 協同組合八食センター 上平 靖文  
復興道路が完成し八戸市との距離がまた近くなりました。これからも“八戸の美味しい”を多くの皆さんに味わってもらいたい！



**7** はしかみ観光ネットワーク 会長 佐京 忠史  
階上町は、山・海の景観や多種の巨木等魅力が多い町。復興道路開通を好機に多くの方に町を知って頂くため更なるPRに努めたい。



**8** 道の駅はしかみ 駅長 千葉 信平  
復興道路開通により、事業を展開する上で時短が図れるようになった。交流人口増加も期待できるので、県外のお客様に階上町の良さを伝えたい。



**9** 株式会社日盛ハウジング パルコホーム八戸支店 大堀 義宗  
通勤で毎日利用しており、おかげさまで移動が非常に捗っています！これからも多くのお客様に「マイホーム」ご提供頑張ります！



**10** 伊勢屋金網工業株式会社 八戸営業所 取締役所長 林 賢吉  
此の道路工事には当社も微力ながら御手伝いする事が出来ました。命を繋ぐ復興道が経済を動かす元氣な東北と成る事を祈ります。



**11** 株式会社北日本中央観光バス 坂本 一幸  
復興道路開通で三陸沿岸地域への移動がとても便利になりました。これからも安全運転を心掛けていきます。



**12** 株式会社はまなす亭 庭 静子  
ウニなどの海の宝や郷土料理が、時短で快適な復興道路で身近に。はまなす亭本店、番屋、ゲストハウスは味でおもてなし致します。



**13** 株式会社北三陸ファクトリー 眞下 美紀子  
素晴らしい食材が生み出される農山漁村地域に光を当て、豊かな海を守りながら人でにぎわう地域づくりを目指していきます！



**14** 一般社団法人fumoto 代表理事 大原 圭太郎  
復興道路ができて近隣市町村への往来がしやすくなりました。洋野に訪れる人がもっと増えるよう、魅力を発信していきたいです。



**15** 磯料理 喜利屋 高城 岩雄  
念願の復興道路開通で大勢の人々が洋野町に訪れ洋野の特産品を手にとり食べて頂ければ本当にありがたいです。10年後もさらに……



**16** 株式会社社長根商店 代表取締役社長 長根 繁男  
地域の生活・産業路としてなくてはならないものとなり、東日本大震災の事を後世に伝えていくための大きなツールとなります。



**17** 久慈市漁業協同組合 女性部長 日影 るり子  
隣町が近くなりました！久慈みなと・さかなまつりには、漁協女性部も踊りで花を添えます。海の幸もたくさん。ぜひ来てください！



**18** 新しい農業協同組合久慈地域菌床しいたけ部会 部会長 大矢内 利男  
久慈地域では、菌床椎茸が多く生産されています。復興道路を使って、新鮮な菌床椎茸を全国の消費者へ届けていきたいです。



**19** 久慈広域連合久慈消防署 廣崎 梨花  
復興道路を活用することで、緊急消防援助隊員として全国で想定される災害に迅速に駆けつけられます。震災の恩返しにもなります！

20



北リアスみちづくり女性の会  
会長 大槻 静子

私たちの悲願だった「命の道」の全線開通を心からうれしく思います。今後は観光や医療、地域活性化につながることを期待します！

21



株式会社三河交通観光  
専務取締役 三河 えり子

復興道路が全線開通し、県内外から多くの観光客が久慈市を訪れることを期待。タクシー・バス旅行業で地域に貢献してまいります。

22



道の駅くじ 産直まちなか  
坂本 千佳

中心市街地にある産直で、地元の新鮮な野菜と海産物などを販売しています。復興道路を利用して多くの方に買いに来てほしいです。

23



合同会社プロダクション未知カンパニー  
代表社員 北三陸観光大使 藤織 ジュン

進学や買い物の選択肢が増えるのは良いことです。たくさんの方に北三陸へ来ていただけるようにPR活動を続けていきたいです！

33



株式会社サンマツシュ田野畑  
工場長 戸由 春彦

復興支援道路が開通した事で、物流のコスト削減と時間短縮によって販路が拡大されました。

34



一般社団法人思惟の風(道の駅たのはた)  
石井 扶佐子

「あの道の駅に行きたい」と思って頂く事が目標。三陸道を利用した観光客に田野畑村をPRするチャレンジ精神を持ち続けたいです。

35



田野畑中学校  
大澤 典佳

部活の試合は、宮古市での開催が多く以前は移動でヘトヘト。でも復興道路ができて楽になりました。親の負担も減らせ感謝です！



24



荒海団

岩手野田村荒海ホタテ直売会「野田ホタテまつり」毎年12月に開催しています。皆様の来場をお待ちしています。

25



株式会社のだむら 涼海の丘ワイナリー  
坂下 誠

10年後には、復興道路を利用して多くの観光客が直接野田村を訪れ、美味しい北三陸の食材とワインを楽しんで喜び笑顔を見たい！

26



株式会社野田バイオパワーJP  
田中 義人

復興道路が完成し、八戸や仙台が近くなり業者選定拡大に役立っています！10年後も野田村に貢献できる企業として成長し続けたい！



36



岩泉ホールディングス株式会社  
代表取締役 山下 欣也

災害時の重要なインフラであるとともに利用者には新たな楽しみも。岩泉ヨーグルトが生まれる雄大な自然を満喫しに来てください。

37



岩泉ホールディングス株式会社  
道の駅いわいずみ・三田貝分校駅長 茂木 和人

復興道路を使って八戸や気仙沼からのお客様が増えています。三陸地域の交流が盛んになることを楽しみにしています。

38



岩泉町観光協会  
会長 八重樫 義一郎

日本三大鍾乳洞の龍泉洞には神秘的な地底湖があります。豊かな自然と特色ある地場産品で皆さんをお待ちしています。

27



久慈広域連合消防本部久慈消防署 野田分署  
野竹 公彦

復興道路が完成し病院までの搬送時間が短縮されました。一人でも多くの命を救うために。命をつなぐ救命ロード！！



28



道の駅 青の国ふだい  
駅長 久保 弘昭

道の駅青の国ふだいは、三鉄普代駅と一体となった村の玄関口です。全線開通をきっかけに普代の宝物昆布を食べにきてください。

29



有限会社カネシメ水産  
代表取締役 金子 太一

復興道路が出来て地方の医療格差が少しだけ埋まり病院への移動がスムーズになった。流通と人の流れも利便性が上がる事を期待する。

39



岩泉町経済観光交流課  
周 由希

ドライブで早坂高原などの絶景スポットを楽しめます。柳は緑花は紅。Come on. Let's hit the road!



40



明日を拓く宮古のみち女性の会  
伊藤 牧子

長年の要望活動が結実し、復興道路が全線開通した事を嬉しく思います。多くの工事関係者のご尽力に感謝し道路を大切に使いたいです。

41



一般社団法人宮古観光文化交流協会  
学歩防災ガイド 元田 久美子

復興の目指す姿、いのちを守り海と大地と共に生きる事でした。震災から11年、失った命を無駄にせず次世代に繋げる為語り続けます。

30



上神田精肉店  
代表 上神田 敬二

涙を流し立ち上がった仲間との10年という成長に心から感謝し、この時代の先に笑顔溢れる喜びと希望に満ちた普代村を創ります。



31



株式会社陸中たのはた ホテル羅賓荘  
調理長 三上 大貴

目的地に早く着けるからこそ寄り道する心の余裕が私達の力になる。つながったのは道路だけじゃないよって感謝の心ありっけ。

32



NPO法人体験村・たのはたネットワーク  
楠田 拓郎

大津波の災害復興への皆様のご支援に、感謝申し上げます。震災を伝え続け、豊かな暮らしを守り、体験を提供し続けます。

42



株式会社菱屋酒造  
代表取締役 齊藤 敦子

170年続く「千両男山」は、港町宮古の歴史の証人です。震災後の新しい三陸に欠かせない「おいしい酒」造りに励んで参ります。

43



株式会社川井産業振興公社(道の駅やまびこ館)  
藤田 ルリ子

宮古盛岡横断道路ができて、お客様が増えました。いつまでも賑わいが続くよう、立ち寄りた道の駅No.1を目指します。

44



浄土ヶ浜旅館/味処 海舟  
山根 千春

復興道路により利便性が良くなり、今後の美味しいや楽しいの発展につながる道路になってほしいです。皆様、宮古におでんせ！

45



一般社団法人宮古観光文化交流協会  
田中 和七

高速化に伴う利便性の向上と経済の好循環に期待する。復興状況見学と美味しい食べ物や美しい景色を味わいに多くの人に足を運んでほしい。

46



岩手県北自動車株式会社  
地域事業推進室 八重樫 眞

明日に進む10年から未来に紡ぐ10年にしたい。ヒト、モノそして文化を結ぶために新しい道を共に走っていききたい。

47



銚ヶ崎元気市の会  
菅原 則夫

定期市「銚ヶ崎元気市」は、毎回4千名以上にご来場いただく港町のイベントです。ぜひ三陸の「美味しい」を探しにお越しください。

48



共和水産株式会社  
代表取締役専務 鈴木 良太(イカ王子)

沿岸の誇りである「魚」を岩手県、東北の誇りに！岩手県沿岸の「おいしい」を内陸、三陸に届けます。

49



株式会社隆勝丸  
平子 昌彦

宮古の新鮮なホタテを全国へ！内陸と沿岸がちかくなったので、レジャーや観光で宮古の海を楽しんでもらえるようにしたい！

59



大槌商工会  
会長 後藤 力三

この道路の完成は、安全、安心、迅速な他市町村とのアクセスを促進し、産業の維持、振興に大いに寄与するものと期待しています。

60



釜石大槌地区行政事務組合大槌消防署  
川端 和英

管轄外の病院へ搬送する機会が増加しています。復興道路により搬送時間が短縮されたため、住民に安心感を与えていると思います。

61



大槌町立大槌学園  
児童生徒会長 上野 大雅

私は今、生徒会活動や空手を一生懸命頑張っています。10年後には、建築家になり災害に強い町づくりに携わっていききたいです。



50



株式会社工フビー  
代表取締役 田鎖 健一

復興道路が開通し、モノの輸送時間短縮のほか、通勤時間も短縮され、環境に優しい企業活動につながる事ができています。

51



道の駅やまだ  
支配人 阿部 達也

復興道路が全面開通し山田町は「新道の駅」を整備します。観光のゲートウェイとして機能し、町に交流人口が増えることを期待しています。

52



三陸やまだ漁業協同組合  
組合長 生駒 利治

三陸沿岸道路の全線開通が産業道路として、サケ、スルメイカ等の大不漁に苦しむ沿岸漁業者の支援道路になるものと期待します。



62



山崎建設株式会社  
山崎 長也

あの忌まわしい震災から10年。住民悲願の復興道路の完成、今迄の復興政策を総括し、官民一体で理想像を掲げ、この道路と共に前へ。

63



一般社団法人岩手県建設業協会青年部連絡協議会  
会長 青木 健一

この道が利便性、快適性、安全性、人の心も近づけます。大きな犠牲の上に成立つ復興道路が三陸の新しい未来を創ると信じます。

64



釜石市鶴住居地域会議  
議長 古川 幹敏

震災6日前に区間開通した「命の道」。当地には、世界遺産やラグビー復興スタジアムなど多くの観光地があります。お待ちしております。

53



明神丸かき・ほたてきち  
中村 敏彦

山田湾はオランダ島や美味しい海産物など三陸各地には魅力が沢山です。復興道路で行動範囲が広がり賑わいが確実に増えているのは嬉しいです。

54



いわき農園  
岩城 創

有機野菜の観光農園も始めました。復興道路を利用して多くの人に食の生産現場を見に来てほしいです。

55



宮古地区広域行政組合山田消防署  
救急救命士 小笠原 直樹

病院までの搬送時間が短縮されるとともに、より安全な活動が可能になりました。命を繋ぐ復興道路、一人でも多くの命を救います。



65



釜石市大槌地区行政事務組合消防本部  
消防長 大丸 広美

医療機関や災害現場への移動時間の短縮、また津波災害時の貴重な道路として住民の安心安全に繋がる期待と希望の復興道路です。

66



株式会社まいしDMC・いのちをつなぐ未来館  
川崎 杏樹

復興道路ができたことで、沿岸部の移動が楽になりました。ぜひ震災伝承施設を巡り今後の災害に備えるきっかけとして頂きたいです。

67



一般社団法人根浜MIND  
細江 絵梨

根浜海岸は震災で失われた砂浜も復旧し、安心安全な海水浴場となりました！復興道路を使って美しいビーチへ遊びに来てください。



56



株式会社ゼネラル・オイスター 大槌 牡蠣ノ星  
飛木 裕也

復興道路を使用するの通勤時間短縮により、地元だけでなく近隣地域からも勤務し易くなりました。さらなる地域貢献を目指します！

57



株式会社社関 岩手大槌工場  
菅原 秀一

大槌工場で生産した出来立ての『釜わかめ』を、復興道路でより近くなった栃木県の本社に毎日輸送し全国に届けております。

58



一般社団法人おらが大槌夢広場  
代表理事 神谷 未生

震災学習を提供しています。復興道路ができ大槌までの移動時間が短縮されたおかげで、町へ長く滞在してもらえるようになりました。



68



大船渡魚市場株式会社  
千葉 隆美

復興道路の完成により、港間の運送時間が短縮となり、魚の水揚げ販売が、良い方に向かって行く事を信じています。

69



大船渡インターホテル椿  
佐々木 陽代

三陸を訪れるお客様に快適な宿泊環境とあたたかいおもてなしを提供します。ホテルや地域の魅力発信を続けます！ぜひ大船渡へ！

70



ゆわて吉田工業株式会社  
川原 義則

復興道路により、県内・隣県への社用移動が震災前に比べ安全、速やかになりました。今後は多様化に対応できる地域づくりに期待！

71



FMねまらいん  
長田 信也

三陸道が全線開通しました。生活道路としての需要も多いので、事故や通行止め等の情報は素早く発信して行きます。

72



大船渡市婦人防火クラブ協議会  
大森 ユキ子

震災から10年、街には賑わいが戻りつつ復興道路もでき、産業や観光等整備された道路が最大限生かせる大船渡市になって欲しいです。



73



一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト  
吉田 雪希

三陸に咲く椿は、とても強く美しい。復興道路・復興支援道路で見に来てほしい。椿の花が咲く頃に...

84



SMC株式会社遠野事業所 製造6課  
新田 和也

復興道路の完成により、移動時間が短縮され沢山の方が気軽に遠野市に訪れ地域全体が元気になることを期待しています！

85



岩手県商工会連合会  
河内 夕希枝

復興道路を利用し、遠野市を拠点に沿岸地域の企業支援を行っています。地域の経済活動にも復興道路は欠かせない存在です。

86



一般社団法人遠野市観光協会  
菊池 星香

復興道路ができて、沿岸地域との流通、買い物及び観光が便利になりました。民話のふるさと遠野市へ是非越してください。

87



株式会社遠野ふるさと商社 道の駅遠野風の丘  
新田 和幸

復興道路の開通により休憩場所として多く利用されています。遠野の魅力発信し交流を深める場として更に発展していきたいです。

74



大船渡高校  
松田 由希菜

復興道路を毎日の通学に利用しています。この道路ができて隣町へ行くのが容易になりました。おかげさまで、3年間元気に学校へ通うことができました！

75



ドメーヌ ミカツキ  
及川 恭平

「陸の孤島」だった三陸沿岸が復興道路で色んな人との交流が増えました。10年後は世界から人が訪れるようなワイナリーにする！

76



合同会社ぶらり気仙  
鍛冶川 直広

復興道路で国内外からたくさんの観光客が訪れて、陸前高田市で震災のことも知って、食や体験を楽しんでほしい。特に海中熟成はオススメ！

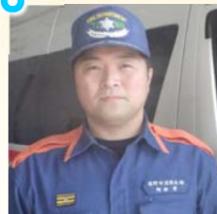
77



陸前高田しみんエネルギー株式会社  
大林 孝典

私たちはエネルギーの地産地消による地域活性化に取り組んでいます。全国から多くの方が視察に訪れるような会社にしていきます！

88



遠野市消防本部 遠野消防署  
警防係 阿部 学

救急車で搬送時間が短縮。傷病者・救急隊員の負担が軽減しました。復興道路は、命をつなぐ道。これからも全力で疾走します。



89



花巻温泉株式会社  
取締役営業部総括部長 佐藤 寿美

釜石から花巻への復興支援道路は、あの日の絶望を希望へと繋ぐ心の道になった。花巻温泉が果たした役目をこれからも忘れない。

90



東京エンブラ商事株式会社 花巻工場  
平野 翼

仕事上、遠野・釜石へ行く機会が増えた為復興道路の利用も必然的に多くなっています。時間を有効的に使えるようになりました。



78



住田観光開発株式会社 滝観洞観光センター  
千葉 孝文

復興支援道路と復興道路が開通し縦横軸の観光が可能となりました。岩手にお越しの際は是非、滝観洞にお立ち下さい。

79



一般社団法人邑サポート  
奈良 朋彦

復興道路によって人や物の往来が活発になり、この地でも多様な暮らし方が育ち、たくさんの出会いが生まれることを願っています。

80



有限会社ありす畜産  
水野 雄幸

先日、三陸沿岸道路で宮古農場と十和田農場を一日で訪問する事が出来ました。今後この機動力を当社の事業拡大と改善に繋げたい。

91



株式会社アイオー精密  
鬼柳 一宏

復興道路を利用することで従業員の通勤時間短縮が実現。より広域からの採用も可能となったので働き方改革を進めやすくなりました。

92



一般社団法人花巻観光協会  
平塚 正隆

復興支援道路の整備は内陸部と沿岸部を結ぶ新たな観光ルート創出に大きな弾みであり、関係者と連携し情報発信PRに取り組みます。

93



花巻観光バス株式会社  
高橋 順

広大な県土に豊富な観光資源の我々郷土岩手。震災から10年を経過し観光の再興新たなルートに大きく寄与するものを期待致します。

94



リマテック東北株式会社花巻ラボ  
千葉 千津子

復興道路ができて本社のある大船渡市との往来時間が短縮しました。その分、別の仕事に取り組めるので、作業効率が上がりました。

81



住田フーズ株式会社  
管理部・部長 吉田 順

復興道路の完成により当社製品が従来よりも早く配送されることで輸送コストも下がり10年後の会社経営に明るい兆しが見えます。



82



大野ゴム工業株式会社  
代表取締役社長 大野 洋一

弊社遠野工場より生産された自動車ゴム部品は復興道路を経由し県内外に供給、海外には釜石港から輸出し満足いただいております。

83



筑波ダイカスト工業株式会社 遠野工場  
金野 精一

アクセス改善で物流効率が向上で、顧客の評判も良好。遠野の地域経済に変化をもたらしており、継続的な事業展開に繋がります。

95



株式会社シカモトウェルディング  
代表取締役 鹿本 順也

釜石の勤務先と実家が震災で全壊し、内陸の花巻で起業し早10年。復興道路の延伸に併せ、当社も着実に成長しています。



96



白金運輸株式会社  
海鋒 徹哉

内陸と沿岸を近づけてくれた道路は、物流にとっての生産性向上を実現しました。岩手県民の絆をも繋いでくれる道路に感謝します。

97



イワフジ工業株式会社  
川崎 智資

復興道路で故郷が近くなりました。復興支援に向け、観光や新鮮な魚介類の買い出しにも利用できます。三陸沿岸へ行こう！

98

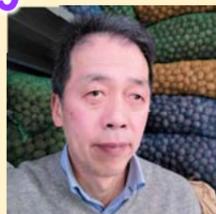


株式会社小山製麺  
高橋 智之

東北の素晴らしさが見直され、中央との距離も縮むことから、娯楽やテーマパークなどが進出、観光も盛んになり活気のある東北に！！



99



一般社団法人SAVE IWATE  
理事長 寺井 良夫

隠れた名産とくまみの輸送や祭りを見に行くための移動は本当に快適になりました。復旧の10年が過ぎこれからは真の復興の10年。

100



盛岡水産株式会社  
代表取締役社長 菊池 一裕

三陸の海の恵みを通じて、内陸と沿岸の交流がさらに気軽に、さらに活発に出来るようになります。本当に楽しみです。

101



岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合盛岡支部  
支部長 太田代 洋一郎

本州一広い県土の岩手県。色々な町に素晴らしい食や文化が盛たくさん。復興道路がそれぞれの思いも繋ぐ道路となりますように。

102



盛岡ホテル協議会  
会長 村上 振一郎

復興道路の開通で盛岡市街地へのアクセスが大変便利になりました。ご宿泊やお食事等、ぜひ当協議会加盟ホテルをご利用ください。



103



公益社団法人岩手県バス協会  
専務理事 伊藤 純

復興道路の完成で沿岸部が一本に繋がり、内陸部との往来時間も短縮されました。バスの利便も更に向上します。ご利用ください！

104



公益社団法人岩手県トラック協会  
会長 高橋 嘉信

復興道路の全線開通により、被災地の復興の加速化と、沿岸地域の産業活動の活性化の後押しになることを多に期待します。



105

写真

お名前

コメント



## 三陸沿岸地域へのアクセス

駅から快適なドライブで  
近くなった東北へ!!



東北をより身近に  
立ち寄りやすく



## 二次元コードから 大迫力のドローン映像が見られます

思惟花笑み大橋



釜石JCT



気仙沼湾横断橋



伊達桑折・伊達中央IC



## 復興道路・復興支援道路の歩み&VR映像

復興道路・復興支援道路の歩み



VR 映像（思惟花笑み大橋）



国土交通省 東北地方整備局

岩手河川国道事務所  
南三陸沿岸国道事務所

三陸国道事務所  
青森河川国道事務所

東北復興道路



震災・復興10年 進もう！次の東北へ